令和７年（２０２５年）版

消防年報



鹿沼市消防本部

はしがき

1.　この年報は、令和7年度の消防事務の大要を収録したものです。

2.　消防統計については、令和7年中のものであり、その他消防情勢等については、令和8年4月1日現在のものをあらわしました。

令和8年 6月

鹿沼市消防本部

目　　次

鹿沼市消防本部の概況 …… 1
鹿沼市位置図 …… 2
鹿沼市消防本部･消防署組織図 …… 3
鹿沼市消防本部のあゆみ …… 4

第1章　総　務

1　予　算 …… 10
2　土地･施設
(1)　土　　地 …… 11
(2)　建　　物 …… 11
(3)　工　作　物 …… 11
3　職　員
(1)　消防職員の定数及び実員 …… 12
(2)　消防職員の採用及び退職状況 …… 12
(3)　消防職員の配置状況 …… 12
(4)　消防職員の勤続年数別構成 …… 13
(5)　消防職員の年齢別構成 …… 14
(6)　職員研修状況 …… 15
4　消防本部･消防署の配置 …… 16

第2章　予　防

1　防火対象物
(1)　建築確認同意件数 …… 17
(2)　防火対象物数（150㎡以上） …… 18
2　各種申請･届出書の受理状況 …… 19
3　危険物
(1)　種類別危険物施設数 …… 20
(2)　倍数別危険物施設数 …… 21
4　幼年消防クラブ …… 22
5　女性防火クラブ
(1)　連合会 …… 22
(2)　協議会 …… 22

第3章　警　　防

1　機械･器具
(1)　消防車両等の現勢 …… 23
(2)　主な消防隊活動資器材等保有状況 …… 24
(3)　主な救助隊活動資機材等保有状況 …… 25
(4)　主な救急隊活動資器材等保有状況 …… 26
2　消防水利 …… 27
3　通信施設
(1)　消防通信系統図 …… 28
(2)　消防緊急情報システム主要機器 …… 29
(3)　通信指令回線構成 …… 29
(4)　無線電話 …… 29
(5)　119番等受付件数 …… 30
4　気　　象
(1)　気　象　概　況 …… 31
(2)　気象通報等受理状況 …… 32

第4章　各 種 統 計

1　火災統計
(1)　月別火災統計 …… 34
(2)　月別･曜日別火災件数 …… 36
(3)　地区別火災発生状況 …… 37
(4)　過去5年間火災損害状況 …… 38
(5)　過去5年間月別損害見積額 …… 39
(6)　過去5年間月別火災件数 …… 39
(7)　過去5年間曜日別火災件数 …… 40
(8)　過去5年間風速別火災件数 …… 40
(9)　過去5年間時間帯別火災件数 …… 41
(10) 過去5年間建物用途別火災件数 …… 42
(11) 過去5年間原因別火災件数 …… 43
(12) 過去10年間の主な火災 …… 44
2　救急統計
(1)　過去5年間年別救急統計 …… 47
(2)　月別救急統計 …… 48
(3)　年齢別救急統計 …… 49
(4)　時間帯別救急統計 …… 50
(5)　地区別救急統計 …… 51
3　救助統計
(1)　過去5年間年別救助統計 …… 52
(2)　事故種別救助統計 …… 52

4　災害統計
(1)　その他災害出動件数 53
(2)　危害予防出動件数 53
(3)　風水害出動件数 53
(4)　PA連携出動件数 54

第5章　消　防　団
1　消防団情勢
(1)　消防団員の定数及び実員 55
(2)　分団別の人口･世帯数･団員数 56
(3)　在職年数別消防団員数 56
(4)　年齢別消防団員数 56
(5)　消防団員の報酬･手当 57
(6)　消防団員の出動状況 57
2　消防機械器具
(1)　消防機械器具配置状況 58
(2)　消防車両等配置状況の経過 58
(3)　消防車両等の現勢 59

第6章　水　　防
1　組　　織 62
2　水防本部各班の分担事務 62
3　水防資機材の備蓄状況 63

鹿沼市消防本部の概況

当消防本部は、昭和26年10月1日に鹿沼市消防本部として発足し、その後当市が近隣の村々を編入合併してきたことに伴い、消防本部の管轄区域も広がってまいりました。

昭和47年4月1日には消防業務・救急業務及び研修センターの業務を共同処理するため当時の鹿沼市及び粟野町によって鹿沼地区広域行政事務組合が設立され、鹿沼市消防本部は鹿沼地区広域行政事務組合消防本部となりました。

さらに、平成18年1月1日に鹿沼市が粟野町を編入合併したことに伴い、鹿沼地区広域行政事務組合は解散し、鹿沼地区広域行政事務組合消防本部は再び鹿沼市消防本部となり、現在に至っています。

本市は、栃木県の西南に位置し、県都宇都宮市の西に隣接しており、南東部は市街地を中心とする平地、北西部は日光に連なる足尾山塊からなる山岳地帯で、面積は、490.64 ㎢の広大な地域を占めています。首都東京から約100㎞、高速道路や鉄道で短時間で結ばれ、北関東における中枢都市機能の一翼を担う位置にあります。

さらに、豊かな自然とめぐまれた広大な森林地帯をもち、幾筋もの清流が肥沃な大地を潤しています。

また、市内一円に産出する鹿沼土は保水性・通気性に優れた園芸用の土として知られています。

気候は、海から離れているため寒暖の差が大きい内陸性の気候で、夏は太平洋方面から南東の風が吹き雷雨が激しく、冬は反対に大陸方面から北西の風が強く吹き、快晴の日が多く乾燥した状態が続きます。

近年は、工業団地・流通センター等において多くの企業が操業しており、首都圏と直結した高速道路を有効に活用し、今後県内の中核都市として更に発展することが期待されています。

（令和8年4月1日現在）

本部の位置	東経139度45分53秒　北緯36度33分49秒　海抜148.8ｍ
面積	490.64 ㎢
人口	91,532 人
世帯数	41,209 世帯

鹿沼市位置図

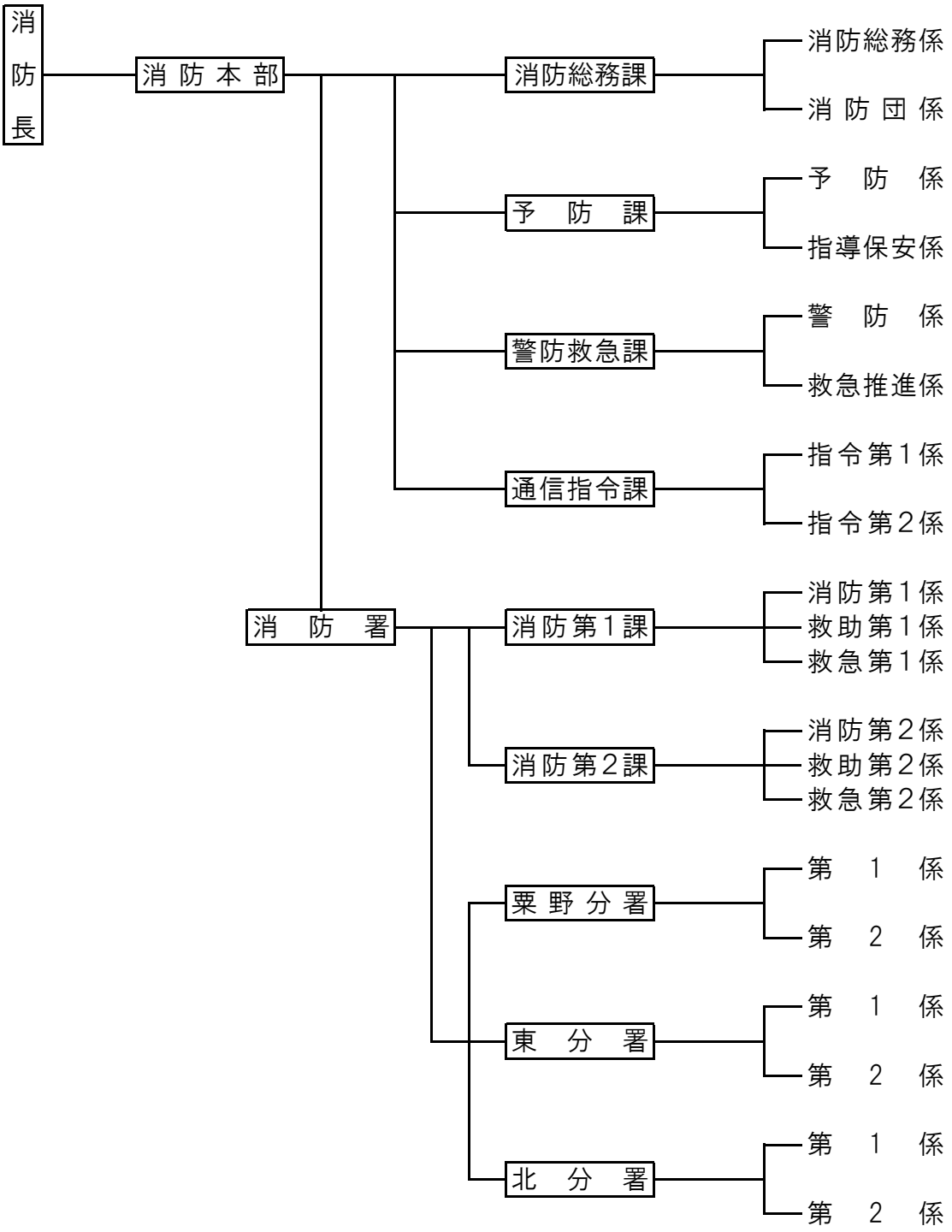

栃木県
群馬県
茨城県
埼玉県
山梨県
東京都
神奈川県
千葉県
100km


栃木県
鹿沼市


板荷
草久
横根山
▲1373
柏尾峠
上柏尾
加園
新鹿沼
鹿沼
北分署
消防本部・消防署
鹿沼市
宇都宮市
鹿沼
上石川
東分署
中柏尾
口粟野
粟野分署
下永野
西方町
壬生町
凡　例
消防本部
消防署
分　署

鹿沼市消防本部･消防署組織図

（令和8年4月1日現在）



鹿 沼 市 消 防 本 部 の あ ゆ み

昭和26年	10月 1日	消防組織法第9条の規定に基づき、鹿沼市消防本部を設置 （久保町1696-1）
		消防職員14名を任命、消防ポンプ自動車2台
		消防職員14名を初任教養のため、栃木県消防訓練所に派遣
	10月 8日	水そう付ポンプ自動車1台を購入し、消防本部に配備した。
	11月 1日	消防本部開庁式、業務開始　各班7名
昭和27年	7月 3日	水そう付ポンプ自動車1台を購入し、消防本部に配備した。
昭和29年	10月01日	1市7村合併（鹿沼市、東大芦村、菊沢村、板荷村、北押原村、西大芦村、加蘇村、北犬飼村）
昭和30年	7月28日	南摩村を編入合併
	8月10日	南押原村を編入合併
昭和31年	1月27日	消防ポンプ自動車1台を購入し、消防本部に配備した。
昭和32年	7月20日	鹿沼市消防本部に火災専用電話（119番）設置
昭和33年	12月 9日	消防用無線開局、基地局1、移動局1（中短波）
昭和34年	7月31日	消防本部庁舎新築により移転（今宮町1692-17）
昭和35年	4月30日	望楼完成（産業文化会館塔屋）
	8月30日	消防専用電話開通（望楼～通信室）
	11月 1日	望楼監視勤務開始（24時間）
昭和36年	4月 1日	鹿沼市消防署設置（消防本部に併設）
		鹿沼市役所総務課より消防事務を消防本部に移設
	12月14日	庁内放送設備を消防庁舎に設置
昭和38年	6月 1日	指令車を1台購入し、消防署に配備した。
	7月31日	無線電話増設（携帯2台）
昭和39年	11月10日	消防ポンプ自動車を1台購入し、消防署に配備した。
昭和40年	3月15日	消防職員全員にアルミックス防火衣、カバー付長靴を貸与
	11月24日	超短波無線電話設置、基地局1基、移動局2基、携帯1台
昭和41年	2月 3日	水そう付（化学併用）消防ポンプ自動車を1台購入し、消防署に配備した。
	2月23日	超短波移動局1基増設
昭和41年	3月25日	損害保険協会より消防ポンプ自動車1台寄贈され、消防署に配備した。
	3月31日	救命索発射銃及び携帯切断機を購入
	10月11日	救急自動車1台購入し、消防署に配置した。
	10月12日	救急業務開始
	11月18日	超短波無線電話移動局1基増設
	11月20日	水そう付消防ポンプ自動車を1台購入し、消防署に配備した。
昭和42年	4月28日	油圧式救助器具を購入
	5月10日	指令車を1台購入し、消防署に配備した。
	9月26日	火災速報器を通信室に設置した。
昭和42年	11月20日	水そう付消防ポンプ自動車を1台購入し、消防署に配備した。
	11月25日	消防ポンプ自動車を1台購入し、消防署に配備した。
		超短波無線電話移動局3基増設
昭和43年	4月20日	消防本部加入電話増設3本
昭和43年	12月 1日	空気呼吸器2台、高圧コンプレッサー購入し、消防署に配備
	12月 5日	超短波無線電話携帯用1台増設
昭和44年	12月 1日	鹿沼警察署、消防署間に専用電話設置
昭和45年	2月12日	鹿沼ロータリークラブより救急予備車兼指令車1台寄贈された。
	5月 1日	消防本部機構改革（係制廃止、本部3担当、署2班1担当、3分隊）
	5月21日	消防庁舎新庁舎で業務開始（望楼勤務廃止）
	6月10日	消防庁舎竣工記念式典実施
昭和46年	1月23日	消防ポンプ自動車を1台購入し、消防署に配備した。
	2月 9日	無線電話1基購入

昭和46年	4月 1日	消防職員4名増員（定員53名）初めて女性消防士採用 粟野町より救急業務の委託を受け業務開始
	6月22日	粟野町役場に救急連絡専用電話を設置
	12月22日	昭和46年第7回鹿沼市議会定例会において、鹿沼地区広域事務組合設立が議決された。鹿沼市及び粟野町の消防業務及び救急業務に関する事務は、昭和47年4月1日より共同処理することに決定
昭和47年	2月28日	一斉指令装置20回線設置
	3月31日	鹿沼市消防本部、鹿沼市消防署廃止
昭和47年	4月 1日	鹿沼地区広域行政事務組合を設立(鹿沼市消防本部、鹿沼市消防署(昭和26年10月設置)は、昭和47年3月31日を以て廃止)した。 鹿沼地区広域行政事務組合消防本部及び鹿沼消防署を設置した。 消防職員55名を採用(うち51名は鹿沼市消防本部、鹿沼市消防署から移行)した。
	10月 1日	鹿沼消防署粟野分署を鹿沼市口粟野1655に開設した。 消防職員5名を採用（実員60名）した。
	12月28日	東北自動車道開通に伴い日本道路公団から救急車1台を借用し、鹿沼消防署に配備した。
昭和48年	2月 1日	消防職員5名を採用（実員65名）した。
	2月28日	鹿沼消防署粟野分署を鹿沼市口粟野854-1 に新築移転した。
	4月 1日	職員定数条例の改正により消防職員定数を88名とした。 消防職員18名を採用（実員83名）した。 鹿沼消防署東分署を鹿沼市さつき町15工業団地内に開設した。 日本道路公団から借用の救急車を返納した。
	5月 1日	鹿沼消防署救助隊（隊員20名）を発足した。
	7月 1日	消防職員2名を採用（実員85名）した。
	7月21日	日本道路公団に返納した救急車を再借用し、東分署に配備した。
	11月 7日	日本自動車工業会から救急車が寄贈され粟野分署に配備した。
昭和49年	2月 1日	消防職員2名を採用（実員87名）した。
	2月15日	鹿沼地区危険物保安協会から指令車が寄贈され鹿沼消防署に配備した。
	2月28日	消防訓練塔（東分署敷地内）が完成した。
	4月 1日	職員定数条例の改正により消防職員定数を90名とした。 消防職員7名を採用（実員90名）した。 鹿沼地区研修センターを日吉町に開設した。
	8月26日	日本道路公団から借用中の救急車が本組合に寄贈された。
	10月21日	職員定数条例の改正により消防職員定数を95名とした。
	11月21日	救助工作車を購入し、鹿沼消防署に配備した。
	12月 7日	鹿沼相互信用金庫から鹿沼市へ救急車が寄贈された。 同救急車を鹿沼市から借用し、鹿沼消防署に配備した。
昭和50年	4月 1日	消防職員6名を採用（実員94名）した。
昭和51年	4月 1日	消防職員1名を採用（実員94名）した。
昭和52年	4月 1日	消防職員2名を採用（実員94名）した。
昭和53年	2月 1日	粟野町内の電話が全域自動化されたことに伴い、119番5回線を鹿沼消防署通信指令室に集中管理した。
	4月 1日	消防職員2名を採用（実員95名）した。
昭和54年	4月 1日	職員定数条例の改正により消防職員定数を96名とした。 消防職員3名を採用（実員96名）した。
	10月 1日	携帯受令機を購入（職員40名に配備）した。
昭和55年	1月 1日	宇都宮市と消防相互応援協定を締結した。
	4月 1日	消防職員1名を採用（実員96名）した。 今市市と消防相互応援協定を締結した。
	11月18日	栃木県防災行政無線局が設置（鹿沼消防署）された。
昭和56年	3月12日	携帯受令機を購入（職員50名に配備）した。

昭和56年	4月 1日	職員定数条例の改正により消防職員定数を98名とした。 消防職員4名を採用(実員98名)した。
	5月20日	特殊災害消防相互応援協定(県内15消防本部)を締結した。
昭和57年	4月 1日	消防職員3名を採用(実員98名)した。
昭和58年	4月 1日	職員定数条例の改正により消防職員定数を100名とした。 消防職員4名を採用(実員100名)した。
昭和59年	6月19日	消防車(鹿沼消防署2台、東分署1台、粟野分署2台)に車外無線装置を取付けた。
	12月20日	火災情報案内(テレホンサービス)を設置した。
昭和60年	4月 1日	消防職員3名を採用(実員100名)した。
昭和61年	3月11日	山林火災用ホース搬送車が完成し、東分署に配備した。
	4月 1日	消防職員2名を採用(実員100名)した。
昭和62年	4月 1日	鹿沼消防署に警防第1課・警防第2課を設置した。 消防職員2名を採用(実員100名)した。 庁舎建設用地として、上殿町520－1を鹿沼市より借用した。
	11月15日	ミニ消防車「消太くん」が完成し、東分署に配備した。
昭和63年	3月 2日	大和木材㈱・第一運輸㈱から鹿沼市へ救急車とマイクロバスが寄贈された。 同救急車とマイクロバスを鹿沼市から借用し、鹿沼消防署に配備した。
	4月 1日	消防職員1名を採用(実員100名)した。
昭和64年	1月 6日	大型水そう車を購入し、鹿沼消防署に配備した。
平成元年	4月 1日	消防職員1名を採用(実員101名)した。 消防長を専任とした。
平成3年	1月31日	消防緊急情報システム(Ⅱ型)を導入した。
	2月 1日	組合事務局・消防本部・鹿沼消防署併設庁舎を鹿沼市上殿町520－1に新設移転した。
平成3年	3月27日	日本損害保険協会から本組合へ救急普及啓発広報車が寄贈され、鹿沼消防署に配備した。
	4月 1日	消防本部及び鹿沼消防署警防課を警備課に改めた。
	7月 1日	消防職員1名を採用(実員101名)した。
	7月25日	日本消防協会から本組合へ救急車(2B型)が交付され、東分署に配備した。
平成4年	4月 1日	消防職員2名を採用(実員101名)した。
	5月29日	救急救命士1名が誕生した。
	8月 1日	週休2日制が実施された。
平成5年	6月16日	消防訓練塔(鹿沼消防署)が完成した。
	11月30日	消防訓練場に照明灯2基を設置した。
平成6年	4月 1日	消防本部警備課を廃止。鹿沼消防署予防課及び警備課を廃止し、救急管理課を設置。通信指令室を通信指令課に改めた。 職員定数条例の改正により消防職員定数を110名とした。 消防職員5名を採用(実員103名)した。 防火指導員制度を導入(2名採用)した。
	5月25日	救急救命士が2名となる。
	8月 1日	栃木地区広域行政事務組合と消防相互応援協定を締結した。
平成7年	4月 1日	消防職員3名を採用(実員104名)した。
	6月 2日	(財)日本防火協会から本組合へ防火広報車が寄贈された。
	11月15日	救急救命士が3名となる。
平成8年	3月18日	高規格救急車を購入し、鹿沼消防署に配備した。
	4月 1日	職員定数条例の改正により消防職員定数を115名とした。 消防職員6名を採用(実員110名)した。
	7月 1日	女性防火指導員制度を導入(2名採用)した。
	10月 1日	消防職員委員会が発足した。
	11月29日	救急救命士が4名となる。
平成9年	3月28日	火災予防PR車「けすぞうくん」が完成し、予防課に配備した。

平成9年	4月 1日	鹿沼消防署救急管理課を廃止。消防本部警備課及び鹿沼消防署管理課を設置した。
		消防職員7名を採用(実員117名)した。
		女性防火指導員2名を採用(実員4名)した。
	12月12日	救急救命士が5名となる。
平成10年	3月13日	鹿沼消防署に高圧ガス製造施設を整備した。
	4月 1日	鹿沼消防署北分署を鹿沼市玉田町455-6 に開設した。
		消防職員1名を採用(実員117名)した。
	11月25日	救急救命士が6名となる。
平成11年	3月16日	高規格救急車を購入し、東分署に配備した。
平成11年	4月 1日	消防職員3名を採用(実員119名)した。
	5月10日	救急救命士が7名となる。
	7月 1日	女性防火指導員2名を採用(実員4名)した。
	12月 1日	救急救命士が8名となる。
平成12年	3月15日	高規格救急車を購入し、粟野分署に配備した。
	4月 1日	消防職員2名を採用(実員117名)した。
	5月 2日	救急救命士が9名となる。
	8月 1日	火災情報案内をテレドーム化にした。
	11月 9日	救急救命士が10名となる。
平成13年	3月13日	高規格救急車を購入し、北分署に配備した。
	4月 1日	消防職員2名を採用(実員119名)した。
	5月 2日	救急救命士が11名となる。
	11月20日	救急救命士が12名となる。
平成14年	3月19日	はしご消防自動車を購入し、鹿沼消防署に配備した。
	3月20日	消防本部に別棟の車庫が完成した。
	4月 1日	消防本部警備課を消防課に改めた。
		消防職員2名を採用(実員120名)した。
	5月 9日	救急救命士が13名となる。
	11月 1日	聴覚障害者用「メール119」を開設した。
平成15年	3月17日	消防庁舎にエレベーターを設置した。
	3月30日	高規格救急車を購入し、鹿沼消防署に増車配備した。
	4月 1日	消防職員4名を採用(実員122名)した。
		救急救命士が14名となる。
	5月 6日	救急救命士が15名となる。
	5月29日	消防ホームページを公開した。
	11月17日	救急救命士が16名となる。
平成16年	4月 1日	消防職員2名を採用(実員120名)した。
	4月27日	救急救命士が17名となる。
	5月13日	救急救命士が18名となる。
	10月25日	新潟県中越大震災による被災地救援のため、緊急消防援助隊栃木県隊として1隊(後方支援隊)、4名を派遣した。
	11月25日	救急救命士が19名となる。
平成17年	3月25日	高機能消防指令センターの運用を開始した。
	4月 1日	消防職員4名を採用(実員123名)した。
	5月12日	救急救命士が20名となる。
平成17年	8月22日	救急救命士が21名となる。
	11月17日	救急救命士が22名となる。
	11月28日	救急救命士が23名となる。
	12月31日	鹿沼地区広域行政事務組合を解散した。
平成18年	1月 1日	鹿沼市、粟野町が合併する。
		鹿沼市消防本部・消防署を設置した。
	4月 1日	消防職員7名を採用(実員124名)した。

平成18年	5月18日	救急救命士が25名となる。
	6月 2日	指揮2号車を消防署に配備(更新)した。
	6月 9日	救急救命士が26名となる。
	8月28日	指揮車を購入し、東分署に配備した。
	12月20日	大型水そう車を購入し、消防署に増車配備した。
平成19年	4月 1日	消防職員7名を採用(実員129名)した。
	5月 7日	救急救命士が27名となる。
	5月21日	救急救命士が28名となる。
	5月22日	救急救命士が29名となる。
	12月 5日	救助工作車を購入し、消防署に増車配備した。
平成20年	4月 1日	鹿沼市消防署東分署を鹿沼市さつき町14番地1に新築移転した。 消防職員4名を採用(実員127名)した。 災害情報メール配信を開始した。
	5月 2日	救急救命士が30名となる。
平成21年	2月24日	高規格救急車を購入し、東分署に配備した。
	3月27日	林野火災工作車を購入し、鹿沼市消防団第9分団に配備した。
	3月30日	鉄道災害時における鉄道事業者と消防機関(県内13消防本部)との連携に関する協定を締結した。
	4月 1日	消防職員3名を採用(実員127名)した。 消防本部総務課を消防本部消防総務課に改め、企画係を総務係に統合し、鹿沼市消防署救急管理課の管理係を消防総務課へ移動。 消防本部消防課に施設係を新設。消防署の課を廃止し、副署長を置く。
	5月 1日	救急救命士が33名となる。
平成22年	3月 3日	高規格救急車を購入し、粟野分署に配備した。
	4月 1日	消防職員6名を採用(実員126名)した。
	8月 1日	救急救命士が35名となる。
平成23年	3月12日	東日本大震災による被災地救援のため、緊急消防援助隊栃木県隊として3隊(消火隊、救急隊、後方支援隊)、12名を岩手県に派遣(第4次派遣部隊まで、延べ52名を派遣)した。
	3月25日	東日本大震災による被災地救援のため、緊急消防援助隊栃木県隊として2隊(救急隊、後方支援隊)、6名を福島県に派遣(第7次派遣部隊まで、延べ18名を派遣)した。
	4月 1日	消防職員5名を採用(実員126名)した。 鹿沼市消防署救急管理課、救急推進係を新設。消防署の課制を復活し、副署長を廃止。
	11月25日	高規格救急車を購入し、消防署に配備した。
平成24年	4月 1日	消防職員1名を採用(実員124名)した。
	7月 1日	消防庁舎空調設備を改修した。
	11月12日	高規格救急車を購入し、北分署に配備した。
平成25年	4月 1日	消防職員8名を採用(実員128名)した。
	6月 4日	鹿沼市消防署粟野分署を鹿沼市口粟野1913番地1に新築移転した。
平成26年	4月 1日	消防職員8名を採用(実員127名)した。
平成27年	3月25日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(CAFS付)を購入し、消防署に配備した。
平成27年	4月 1日	消防職員7名を採用(実員128名)した。 消防本部消防総務課管理係を総務係に統合し、消防本部予防課の指導係と保安係を統合し、指導保安係とした。
	3月15日	消防救急無線のデジタル化工事が完了した。(谷倉山に基地局設置) 高機能消防指令センターのデジタル対応改修が完了した。
平成28年	4月 1日	消防職員6名を採用(実員128名)した。 消防本部消防課を地域消防課に、消防係を地域消防係に改めた。

平成28年	4月 1日	消防署救急管理課を廃止し、消防本部に警防救急課を新設し、警防係と救急推進係を設置した。
		消防署警防第1・2課を消防第1・2課に改めた。
		消防救急デジタル無線と新高機能消防指令センターの運用を開始した。
平成29年	4月 1日	職員定数条例の改正により消防職員定数を130名とした。
		消防職員5名を採用(実員128名)した。
		林野火災工作車を消防本部に配置換えした。
平成30年	3月26日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(CAFS付)を購入し、北分署に配備した。
	4月 1日	消防職員2名を採用(実員128名)した。
平成31年	2月20日	高規格救急車を購入し、東分署に配備した。
	4月 1日	女性消防士2名を含む消防職員4名を採用(実員131名)した。
		多言語同時通訳センターを導入した。
令和2年	3月26日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(CAFS付)を購入し、粟野分署に配備した。
	4月 1日	消防職員2名を採用(実員130名)した。
	8月 1日	NET119システムの運用を開始した。
	11月25日	高規格救急車を購入し、消防署に配備した。
令和3年	4月 1日	消防職員2名を採用(実員128名)した。
	7月19日	熱海市伊豆山土石流災害による被災地救援のため、 緊急消防援助隊栃木県隊として2隊(消火隊、後方支援隊)、6名を静岡県熱海市に派遣(第3次派遣部隊まで、延べ18名を派遣)した。
令和4年	3月28日	消防訓練塔竣工。
	4月 1日	女性消防士1名を含む消防職員4名を採用(実員130名)した。
		再任用職員2名を採用した。
令和5年	4月 1日	消防職員6名を採用(実員128名)した。
		再任用職員6名を採用した。
令和6年	4月 1日	女性消防士1名を含む消防職員8名を採用(実員131名)した。
		再任用職員6名を採用した。
		消防本部地域消防課を廃止し、消防本部消防総務課に消防団係を新設した。消防総務課総務係を消防総務係に改めた。
令和7年	2月27日	岩手県大船渡市山林火災による被災地救援のため、緊急消防援助隊栃木県隊として2隊(消火隊、後方支援隊)、8名を岩手県大船渡市に派遣(第6次派遣部隊まで、延べ48名を派遣)した。
	4月 1日	消防職員5名を採用(実員131名)した。
		再任用職員6名を採用した。
	10月23日	高規格救急車を購入し、北分署に配備した。
令和8年	2月24日	高規格救急車を購入し、消防署に配備した。
	4月 1日	職員定数条例の改正により消防職員定数を150名とした。
		消防職員6名を採用(実員132名)した。
		再任用職員6名を採用した。

第　1　章

総　　務

1 予　算

ア 歳　入

（単位:千円）

款	令和8年度 当初予算額	令和7年度 当初予算額	比　較
使用料及び手数料	14,196	14,447	△ 251
国庫支出金	0	24,054	△ 24,054
県支出金	54,946	309	54,637
財産収入	542	1,331	△ 789
諸収入	2,385	3,428	△ 1,043
歳入合計	72,069	43,569	28,500

イ 歳　出

（単位:千円）

款	令和8年度 当初予算額	令和7年度 当初予算額	比　較
常備消防費	438,758	301,392	137,366
非常備消防費	166,653	86,797	79,856
水防費	203	203	0
歳出合計	605,614	388,392	217,222

2　土地・施設

（1）　土　地

（令和8年4月1日現在）

地　目	地　　積 ㎡	所　　在　　地	用　　途
宅　地	16,389.35	鹿沼市上殿町520番地1	消防本部･消防署、訓練塔
〃	3,559.94	鹿沼市口粟野1913番地1	粟野分署
〃	2,008.34	鹿沼市さつき町14番地2	東分署
〃	2,349.00	鹿沼市玉田町455番地6	北分署

（2）建　物

（令和8年4月1日現在）

名　称	所在地	構　造	建築面積 ㎡	延床面積 ㎡	起　工 年月日	竣　工 年月日
消防本部 消防署	鹿沼市上殿町 520番地1	鉄筋コンクリート造 3階建	1,676.51	2,784.67	平元.10.11	平 3. 1.30 平10.3.13増築
粟野分署	鹿沼市口粟野 1913番地1	鉄筋コンクリート造 平屋建	760.99	760.99	平24. 6. 6	平25. 2.28
東分署	鹿沼市さつき町 14番地2	鉄筋コンクリート造 平屋建	740.28	740.28	平19. 5.31	平20. 3.29
北分署	鹿沼市玉田町 455番地6	鉄筋コンクリート造 平屋建	493.68	493.68	平 9. 5.28	平10. 3.30
消防本部車庫	鹿沼市上殿町 520番地1	鉄骨造 2階建て	630.75	708.43	平13.12.10	平14. 3.20
消防訓練塔主塔	鹿沼市上殿町 520番地1	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 6階建	75.54	177.88	令3.6.17	令4.3.28
消防訓練塔副塔	鹿沼市上殿町 520番地1	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 3階建	102.19	163.50	令3.6.17	令4.3.28

（3）工作物

（令和8年4月1日現在）

名　称	所在地	構　造	規　模	起工年月日	竣工年月日
谷倉山デジタル無線局	谷倉山国有林内	鉄板	無線局建屋等　39㎡	平26. 3	平28. 3

3 職　員

(1) 消防職員の定数及び実員

（令和8年4月1日現在）

区分＼階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員	計
定数	階級別内訳なし								150
実員	1	3	21	41	30		36		132

(2) 消防職員の採用及び退職状況

退職者	令和7年度中	5
採用者	令和8年4月1日	6

(3) 消防職員の配置状況

（令和8年4月1日現在）

区分＼階級		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員	計	(内)救急救命士	備考
消防本部	消防長	1								1		
	消防総務課		1	1	4	1				7		派遣 1
	予防課			2	2	3		1		8		
	警防救急課			2	3			1		6	2	
	通信指令課			3	3	3		2		11	1	
	小計	1	1	8	12	7		4	0	33	3	
消防署	署長		1							1		
	消防第1課		1	3	8	6		12		30	7	
	消防第2課			4	6	8		12		30	8	
	小計		2	7	14	14		24		61	15	
	粟野分署			2	4	4		2		12	8	再任用 2
	東分署			2	5	3		2		12	8	再任用 2
	北分署			2	6	2		4		14	7	再任用 2
	小計			6	15	9		8		38	23	
合計		1	3	21	41	30		36	0	132	41	

（4） 消防職員の勤続年数別構成

（令和8年4月1日現在）

階級別 / 年数別	消防監	司令長防	司令防	司令補防	士長防	副士長防	消防士	職員	再任用職員	合計
1年未満							6			6
1年以上							5		2	5 (2)
2 〃							5		1	5 (1)
3 〃							6		2	6 (2)
4 〃							4		1	4 (1)
5 〃							1			1
6 〃							1			1
7 〃					1		3			4
8 〃					1		1			2
9 〃					2		2			4
10 〃					3					3
11 〃					4		2			6
12 〃					7					7
13 〃				1	6					7
14 〃				1						1
15 〃				1	4					5
16 〃				4						4
17 〃				1						1
18 〃				2	2					4
19 〃				7						7
20 〃				6						6
21 〃				3						3
22 〃				2						2
23 〃				2						2
24 〃				1						1
25 〃				2						2
26 〃			1	1						2
27 〃			1	2						3
28 〃			1							1
29 〃			3	3						6
30 〃			4	1						5
31 〃			2	1						3
32 〃			4							4
33 〃										0
34 〃			3							3
35 〃										0
36 〃										0
37 〃	1									1
38 〃		1								1
39 〃		1								1
40 〃		1	1							2
41 〃			1							1
合 計	1	3	21	41	30	0	36	0	(6)	132 (6)



※再任用職員は実員数に含まれない

（5） 消防職員の年齢別構成

（令和8年4月1日現在）

階級別 / 年齢別	消防監	司令長消防	司令消防	司令補消防	士長消防	副士長消消防	消防士	職員事務	職員再任用	合計
18 歳							3			3
19 〃							2			2
20 〃										0
21 〃							6			6
22 〃							6			6
23 〃							2			2
24 〃							2			2
25 〃							3			3
26 〃							2			2
27 〃							3			3
28 〃							4			4
29 〃					1		1			2
30 〃					4		2			6
31 〃					4					4
32 〃					1					1
33 〃					3					3
34 〃					5					5
35 〃					3					3
36 〃				2	5					7
37 〃				3	2					5
38 〃				2	1					3
39 〃				5						5
40 〃				2	1					3
41 〃				6						6
42 〃				2						2
43 〃				1						1
44 〃				4						4
45 〃				3						3
46 〃										0
47 〃				5						5
48 〃				2						2
49 〃			2	3						5
50 〃			4							4
51 〃			2							2
52 〃			6	1						7
53 〃			1							1
54 〃										0
55 〃			3							3
56 〃		1	1							2
57 〃		1								1
58 〃		1	1							2
59 〃	1		1							2
60 〃									()	()
61 〃									()	()
62 〃									(2)	(2)
63 〃									(1)	(1)
64 〃									(2)	(2)
65 〃									(1)	(1)
合 計	1	3	21	41	30	0	36	0	(6)	132 (6)

※再任用職員は実員数に含まれない

(6) 職員研修状況

（令和7年度）

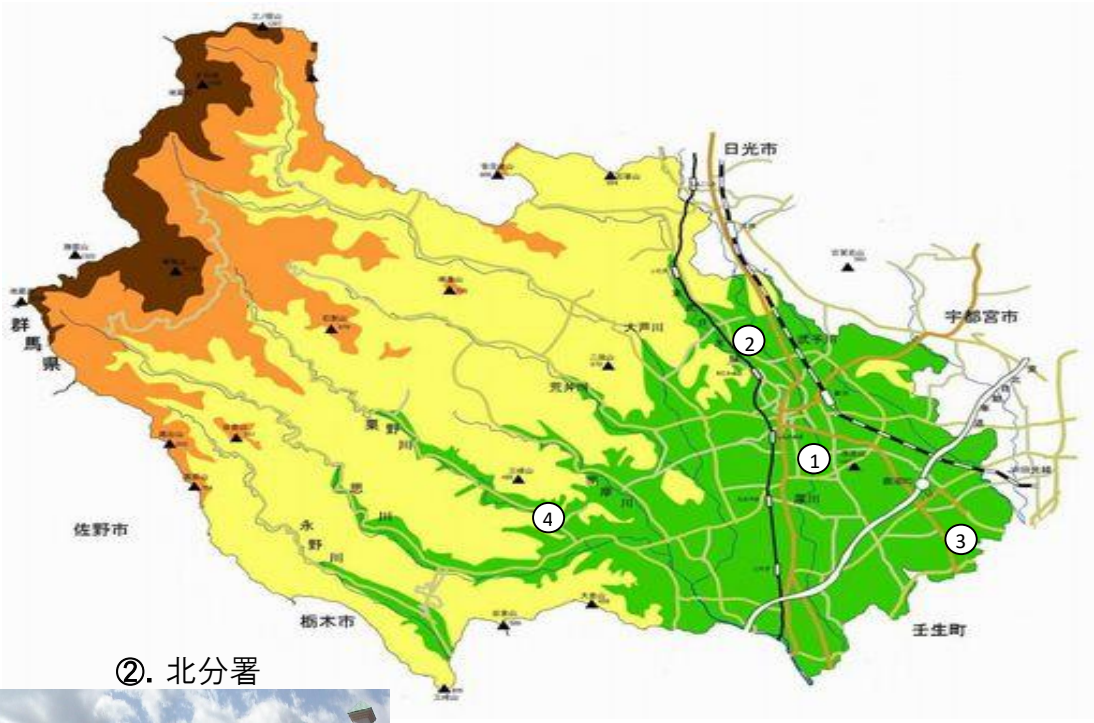
研修機関名	研修名		期間	人員
栃木県消防学校	初任教育		R7.4.3 ～ R7.9.17	5
	専科教育	救助科	R7.9.24 ～ R7.10.23	2
		救急科	R7.10.27 ～ R7.12.24	4
		警防科	R7.1.14 ～ R8.1.27	1
		特殊災害科	R8.1.15 ～ R8.1.23	1
		予防査察科	R8.2.12 ～ R8.2.26	1
		危険物科	R8.2.16 ～ R8.2.20	1
	幹部教育	初級幹部科	R8.1.28 ～ R8.2.10	1
		中級幹部科	R8.2.2 ～ R8.2.6	1
	特別教育	水難救助科	R7.7.29 ～ R7.8.7	2
		ビデオ硬性挿管用咽頭鏡研修	R8.3.11	2
	潜水士免許		R7.12.15	2
救急救命研修所	救急救命士養成		R7.8.26 ～ R8.3.9	1
	指導救命士養成		R7.7.9 ～ R7.8.20	1
消防大学校	危険物科		R7.10.30 ～ R7.12.2	1

4　消防本部･消防署の配置

①. 消防本部・消防署



● 位　　置 鹿沼市上殿町520番地1
● 敷 地 面 積 16，389．35㎡
● 建 築 延 床 面 積 2，784．67㎡
● 構　　造 鉄筋コンクリート造3階建
● 竣 工 年 月 日 平成3年1月30日



②. 北分署



● 位　　置 鹿沼市玉田町455番地6
● 敷 地 面 積 2，349．00㎡
● 建 築 延 床 面 積 493．68㎡
● 構　　造 鉄筋コンクリート造平屋建
● 竣 工 年 月 日 平成10年3月30日

③. 東分署



● 位　　置 鹿沼市さつき町14番地2
● 敷 地 面 積 2，008．34㎡
● 建 築 延 床 面 積 740．28㎡
● 構　　造 鉄筋コンクリート造平屋建
● 竣 工 年 月 日 平成20年3月29日

④. 粟野分署



● 位　　置 鹿沼市口粟野1913番地1
● 敷 地 面 積 3，559．94㎡
● 建 築 延 床 面 積 760．99㎡
● 構　　造 鉄筋コンクリート造平屋建
● 竣 工 年 月 日 平成25年2月28日

第　２　章

予　　防

1　防火対象物

(1)建築確認同意件数

（令和7年度）

区分				月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
確認申請	用途別	1	イ	劇場・映画館等													
			ロ	公会堂・集会場										1			1
		2	イ	キャバレーの類													
			ロ	遊技場等													
			ハ	風俗営業等													
			ニ	カラオケボックス等													
		3	イ	待合・料理店の類													
			ロ	飲食店							1						1
		4		百貨店・マーケット等	1			1				1		3			6
		5	イ	旅館・ホテル等													
			ロ	寄宿舎・共同住宅等													
		6	イ	病院・診療所等													
			ロ	老人福祉施設等													
			ハ	老人福祉施設等											1	1	2
			ニ	幼稚園・養護学校等													
		7		小・中・高等学校等												2	2
		8		図書館・美術館の類													
		9	イ	蒸気・熱気浴場の類													
			ロ	上記以外の公衆浴場													
		10		車両の停車場等													
		11		神社・寺院・教会の類													
		12	イ	工場・作業場	1	1	1	2	1				1	1			8
			ロ	映画・テレビスタジオ													
		13	イ	自動車車庫・駐車場		1											1
			ロ	飛行機等の格納庫													
		14		倉庫		1	1	1		2	1		1		1		8
		15		前各項に該当しない事業場	1	2			1		2	1	2	1	2	4	16
		16	イ	複合用途（特定）					1								1
			ロ	上記以外の複合用途													
		17		重要文化財													
		住宅等			5		2	1	3	2		2	4	1	1	1	22
		計			8	5	4	5	6	4	4	4	8	7	5	8	68
	工事別	新築			8	4	4	5	6	4	4	4	8	7	5	7	66
		増・改築															
		その他				1										1	2
		計			8	5	4	5	6	4	4	4	8	7	5	8	68
その他の申請						1				1	1					2	5
合計					8	6	4	5	6	5	5	4	8	7	5	10	73

(2) 防火対象物数(150㎡以上)

(令和8年4月1日現在)

内訳			件数	内5階建以上
(1)	イ	劇場・映画館等	2	
	ロ	公会堂・集会場	43	
(2)	イ	キャバレーの類		
	ロ	遊技場等	8	
	ハ	風俗営業等		
	ニ	カラオケボックス等	2	
(3)	イ	待合・料理店の類	1	
	ロ	飲食店	75	
(4)	百貨店・マーケット等		166	
(5)	イ	旅館・ホテル等	19	1
	ロ	寄宿舎・共同住宅等	463	27
(6)	イ	病院・診療所等	56	1
	ロ	老人福祉施設等	63	
	ハ	老人福祉施設等	98	1
	ニ	幼稚園・養護学校等	7	
(7)	小・中・高等学校等		109	1
(8)	図書館・美術館の類		8	
(9)	イ	蒸気・熱気浴場の類		
	ロ	上記以外の公衆浴場		
(10)	車両の停車場等			
(11)	神社・寺院・教会の類		29	
(12)	イ	工場・作業場	700	
	ロ	映画・テレビスタジオ	1	
(13)	イ	自動車車庫・駐車場	27	
	ロ	飛行機等の格納庫		
(14)	倉庫		555	
(15)	前各項に該当しない事業場		398	3
(16)	イ	複合用途(特定)	153	5
	ロ	上記以外の複合用途	86	2
(17)	重要文化財		3	
合計			3,072	41

2 各種申請･届出書の受理状況

（令和7年度）

区分		受付数
製造所等設置(変更)許可申請	製造所	5
	貯蔵所	10
	取扱所	16
製造所等完成検査申請	製造所	6
	貯蔵所	6
	取扱所	12
水張・水圧検査申請書		421
少量タンク（水張・水圧）検査申請		23
危険物保安監督者選解任届		42
少量危険物貯蔵・取扱届		36
防火対象物使用開始届		132
防火管理者選解任届		172
消防計画		157
消防用設備設置届		318
消防用設備等点検結果報告書		826
炉・ボイラー等設置届		17
変電・発電・蓄電池設置届		69
煙火届		35
水素ガスを充てんする気球の設置届		0
禁止行為の解除許可申請書		24
露店等の開設届出書		123
催物開催届		6
火災と紛らわしい煙又は火炎を発するおそれのある行為等届		223
道路工事届		150
断水届		1
合計		2,824

3 危 険 物

(1) 種類別危険物施設数

（令和8年 4月 1日現在）

施設別			施設数
製造所			5
貯蔵所	屋内貯蔵所		74
	屋外タンク貯蔵所		77
	屋内タンク貯蔵所		7
	地下タンク貯蔵所		64
	移動タンク貯蔵所		60
	簡易タンク貯蔵所		2
	屋外貯蔵所		20
取扱所	給油取扱所	営業用	34
		自家用	53
	一般取扱所		83
	第1種販売取扱所		2
合計			481

（2） 倍数別危険物施設数

（令和8年 4月 1日現在）

施設別／倍数別	製造所	貯蔵所								取扱所				合計
		屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	計	給油	一般	第一種販売	計	
5倍以下		24	11	4	32	2	53	4	130	15	33	2	50	180
5倍を超え10倍以下	1	23	17	3	15		2	8	68	13	27		40	109
10倍 〃 50倍 〃		13	29		8		5	8	63	19	16		35	98
50倍 〃 100倍 〃		3	5		1				9	13	3		16	25
100倍 〃 150倍 〃			5		1		1		7	6	1		7	14
150倍 〃 200倍 〃	1	1	5		2				8	3	1		4	13
200倍を超えるもの	3	10	4		6				20	18	1		19	42
計	5	74	76	7	65	2	61	20	305	87	82	2	171	481

4 幼年消防クラブ

（令和7年4月1日現在）

クラブ名	クラブ員数	クラブ名	クラブ員数
茂呂保育園	108	津田保育園	31
仁神堂幼稚園	80	日吉保育園	71
まなぶ保育園	61	あづま保育園	99
青い鳥学園晃望台幼稚園	30	こじか保育園	55
青い鳥幼児園	73	西保育園	28
光太寺鹿沼ひかり幼稚園	117	南保育園	15
村井保育園	102	にっこり保育園	47
沖保育園	77	なんま保育園	12
いずみ幼稚園	66	板荷児童館	3
聖母幼稚園	38	粟野保育園	21
合　計	20クラブ	1,134名	

5 女性防火クラブ

(1)連合会

（令和7年4月1日現在）

名　称	協議会数	会　長	副会長	役　員
鹿沼市女性防火クラブ連合会	10	1	3	7

(2)協議会

（令和7年4月1日現在）

協議会名	単位クラブ数	クラブ員数
中　央	12	1,905
東　部	11	2,932
北　部	10	2,184
菊　沢	10	3,187
北押原	－	－
北犬飼	8	2,320
東部台	12	3,866
東大芦	5	577
加　蘇	－	－
西大芦	7	78
板　荷	9	438
南　摩	－	－
南押原	10	1,077
粟　野	－	－
合計　10協議会	94	18,564

第　３　章

警　　防

1 機械･器具

(1)消防車両等の現勢

（令和8年4月1日現在）

所属	車両名		車名		年式	馬力	備考
消防本部・消防署	消防ポンプ自動車		トヨタ	ダイナ	H22	150	A2級
	水そう付消防車		日野	レンジャー	H27	260	〃　CAFS装置搭載
		予備車	イスズ	フォワード	H6	195	〃
	大型水そう車	1号車	イスズ	ギガ	H18	400	〃 10,000ℓ
	はしご車		ニッサン	専用シャーシ	H14	400	36m(艤装モリタ)
	救急車	1号車	トヨタ	ハイメディック	R2	160	高規格 R2.11.12運用開始
		2号車	トヨタ	ハイメディック	R8	160	高規格 R8.3.9運用開始
		予備車	トヨタ	ハイメディック	H23	150	高規格 H23.12.10運用開始
	救助工作車		日野	レンジャー	H19	220	
	資材搬送車		トヨタ	ダイナ	H6	115	
	林野工作車		トヨタ	ダイナ	H21	136	H29.4.1配置換えにより配備
	指令広報車		トヨタ	ランドクルーザー	H8	140	
	指揮車		トヨタ	ハイエース	H18	151	
	広報車	1号車	ダイハツ	ハイゼット	H30	53	H30.5.22寄贈
	消すぞう	1号車	スズキ	キャリー	H4	42	H26に引き上げた消防団車両を改造
	査察車	1号車	トヨタ	タウンエース	H20	97	H20.5.30寄贈
		2号車	ダイハツ	ハイゼット	H16	33	H16.11.11寄贈
	事務連絡車	1号車	ニッサン	ルークス	R5	52	R8.2寄贈
		2号車	ニッサン	クリッパー	H19	48	
		3号車	トヨタ	プリウス	H18	E 77 M 68	ハイブリッド
		4号車	ニッサン	セレナ	R6	150	
		5号車	トヨタ	エスティマ	H15	160	H15.5.28寄贈
	資材搬送用ダンプトラック		ミツビシ	キャンター	H12	125	H30 都市建設部より配置換え
粟野分署	消防ポンプ自動車		イスズ	エルフ	H7	140	A2級
	水そう付消防車		日野	レンジャー	R2	240	〃　CAFS装置搭載
	救急車		トヨタ	ハイメディック	R4	160	高規格 R4.10.6 運用開始
	指令広報車		トヨタ	ランドクルーザー	H9	140	
東分署	消防ポンプ自動車		ミツビシ	キャンター	H9	140	A2級
	化学消防車		ミツビシ	ファイター	H12	220	〃
	救急車		ニッサン	パラメディック	H31	147	高規格 H31.2.25運用開始
	指令広報車		トヨタ	ハイエース	H18	109	
北分署	消防ポンプ自動車		ミツビシ	キャンター	H10	140	A2級
	水そう付消防車		日野	レンジャー	H30	220	〃　CAFS装置搭載
	救急車		トヨタ	ハイメディック	R7	160	高規格 R7.11.10運用開始
	指令広報車		ニッサン	ダットサン	H13	110	

各所属台数は、消防本部･消防署(23台)、粟野分署(4台)、東分署(4台)、北分署(4台)

（2） 主な消防隊活動資器材等保有状況

（令和8年4月1日現在）

資 器 材 名	本 署	粟野分署	東分署	北分署	合 計
ホース　65mm	102	55	55	55	267
ホース　50mm	89	40	40	40	209
ホース　40mm	56				56
三連梯子	4	1		1	6
二連梯子	1		1	1	3
折りたたみ梯子		1			1
送排風器	1	1	1	1	4
照明器具一式	5	2	2	2	11
発電機	7	2	2	3	14
ガンタイプノズル	5	2	2	2	11
CAFS用ノズル	2	2		2	6
フォグガン	2	1	2		5
放水銃	1		1		2
消火薬液（リットル）	680		560	20	1260
ラインプロポーショナー	2				2
低発泡用筒先	1		7		8
高発泡筒先			2		2
エアーテント	2				2
※複合型ガス検知器	1	1	1	1	4
携帯用拡声器	7	3	3	2	15
耐熱服			2		2
空気呼吸器	14	6	6	6	32
林野火災用　C－1ポンプ	5				5
林野火災用　D－1ポンプ	10				10
林野火災用　D－2ポンプ					0
可搬式ウインチ一式	1				1
エンジンカッター	1	1	1	1	4
チェーンソー	9	2	1	1	13
熱画像直視システム	1	1		1	3
風速計	1	1	1	1	4
個人線量計	20				20
表面汚染検査計	2				2
空間線量計	5				5

※本署、粟野分署、東分署、北分署4成分測定可能（可燃性ガス・酸素濃度・硫化水素・一酸化炭素）

（3） 主な救助隊活動資機材等保有状況

（令和8年4月1日現在）

分類	資機材名	消防署	分類	資機材名	消防署
一般救助用器具	かぎ付はしご	2	呼吸保護用器具	簡易呼吸器	2
	三連はしご	1		防塵マスク	5
	金属製折りたたみはしご	1		送排風機	2
	空気式救助マット	1	隊員保護用器具	皮手袋	5
	救命索発射銃	2		耐電手袋	11
	サバイバースリング	2		耐電衣	2
	救助用縛帯	2		耐電ズボン	2
	平担架	1		耐電長靴	2
	ロープ	5		墜落制止用器具	7
	カラビナ	35		防塵メガネ	5
	滑車	8		携帯警報器	5
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	3		防毒マスク	5
	油圧スプレッダー	2		化学防護服	21
	可搬ウィンチ	1		陽圧式化学防護服	6
	ワイヤロープ	10		放射線個人用線量計	3
	マンホール救助器具	1	除染用器具	除染シャワー	1
	マット型空気ジャッキ一式	1		除染剤散布器	2
	大型油圧スプレッダー	1	水難救助用器具	潜水器具一式	6
切断用器具	油圧切断機	1		流水救助器具一式	14
	エンジンカッター	1		救命胴衣	25
	ガス溶断器	1		水中投光器	6
	チェーンソー	1		救命浮環	3
	鉄線カッター	1		救命ボート	1
	空気鋸	1		船外機	1
	大型油圧切断機	1	山岳救助用器具	登山器具一式	2
	空気切断機	1		バスケット担架	2
破壊用器具	万能斧	3	検索用器具	簡易画像検索機	2
	ハンマー	2	その他の救助用器具	投光器一式	2
	携帯用コンクリート破壊器具	1		携帯投光器	5
	削岩機	1		携帯拡声器	3
	ハンマドリル	1		携帯無線機	6
検知･測定用器具	※複合型ガス検知器	2		応急処置用セット	1
	有毒ガス測定器	1		車両移動器具	1
	放射線測定器	1		その他の携帯救助工具	1
呼吸保護用器具	空気呼吸器	10		緩降機	1
	空気補充用ボンベ	3		ロープ登降機	1
	酸素呼吸器	5		発電機	3

※4成分測定可能（可燃性ガス･酸素濃度･硫化水素･一酸化炭素）

（4） 主な救急隊活動資器材等保有状況

（令和8年4月1日現在）

資 器 材 名	消防署	粟野分署	東分署	北分署	合 計
自動体外式除細動器（AED）	5	2	2	2	11
観察用モニター	3	1	1	1	6
電動式吸引器	5	2	2	1	10
自動式人工呼吸器	3	1	1	1	6
固定用酸素吸入装置	3	1	1	1	6
携帯用酸素吸入装置	5	2	2	3	12
止血帯	13	8	7	8	36
携帯用血圧計	8	4	4	3	19
携帯用パルスオキシメーター	4	2	2	2	10
全脊柱固定用バックボード	5	2	2	1	10
メインストレッチャー	3	1	1	1	6
スクープストレッチャー	5	1	1	1	8
移動用布担架	5	1	2	2	10
ポーターマット	0	0	0	0	0
車外救出用破壊器具（一式）	3	1	1	1	6
高圧蒸気滅菌器	1	1	1	1	4
消毒室	1	1	1	1	4
救急隊員教育用人形	5	1	2	1	9
救急自動車用電話	0	1	1	0	2
新生児搬送用保育器	1	0	0	0	1
スマートフォン	4	1	1	2	8
ビデオ喉頭鏡	3	1	1	1	6
患者隔離型搬送バック	2	1	1	1	5
エアロゾルカバーフレーム	2	1	1	1	5
オゾン水生成装置	1	0	0	0	1
オゾンガス発生装置	2	1	1	2	6
自動心臓マッサージ器	2	1	0	1	4

2 消防水利

（令和8年4月1日現在）

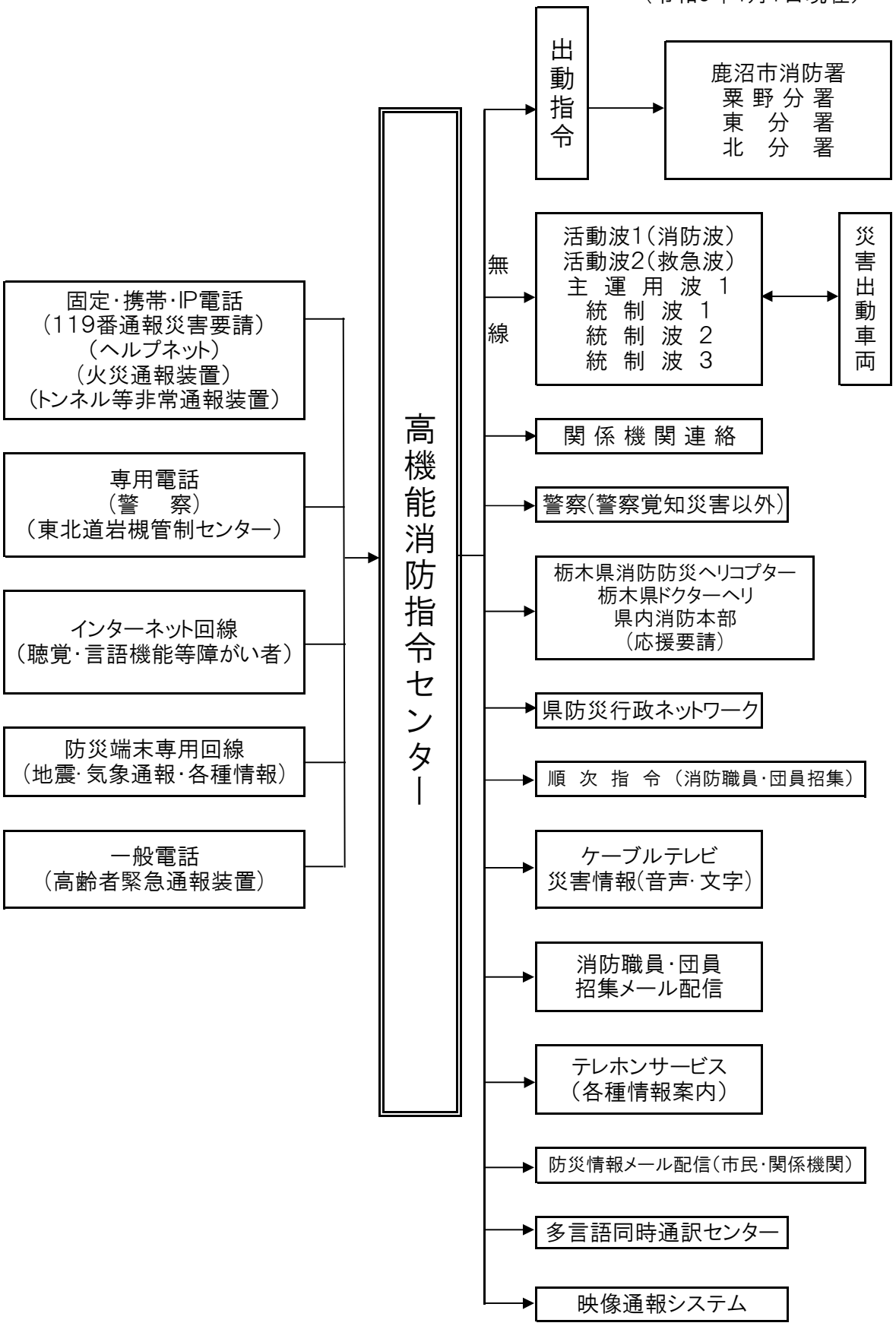
区分 / 地区別	消火栓					防火水そう										防火井戸	合計
	公設					公設											
	地上式		地下式		計	10㎥級	20㎥級	30㎥級	40㎥級	50㎥級	60㎥級	70㎥級	100㎥		計		
	単式	複式	単式	複式									級	兼飲料用水			
鹿沼			329	4	333	2	25	1	(9) 19	3	1		(6) 6		(15) 57		390
菊沢			201		201		21		(11) 28						(11) 49		250
北押原			175		175		26		(4) 8				(1) 1		(5) 35		210
北犬飼			265		265		16	1	(31) 43						(31) 60		325
東部台	1		109		110		10		(2) 12				(1) 1		(3) 23		133
東大芦			68		68		6		2						8		76
加蘇			33		33		11		(1) 5						(1) 16		49
西大芦							1		(4) 18						(4) 19		19
板荷			11		11		5		(3) 17						(3) 22		33
南摩			61		61		4		(14) 19						(14) 23	4	88
南押原			104		104		15		(4) 10						(4) 25	1	130
粟野	1		44		45		(1) 11	1	(5) 15	3		4			(6) 34	2	81
粕尾			25		25		2		(2) 8	2		4			(2) 16		41
永野			30		30		2		(3) 9	1		(2) 6			(5) 18		48
清洲			73		73		5		(6) 18			1			(6) 24	2	99
合計	2		1,528	4	1,534	2	(1) 160	3	(99) 231	9	1	(2) 15	(8) 8		(110) 429	9	1,972

（ ）内数は耐震性防火水そう数

3 通信施設

(1) 消防通信系統図

（令和8年4月1日現在）



（2） 消防緊急情報システム主要機器

（令和8年 4月 1日現在）

機器名称			数量	備考
通信指令課	指令台	自動出動指定装置 地図検索装置 支援情報装置	3席	Ⅱ型（富士通ｾﾞﾈﾗﾙHA-5000）補助受付機能3席
		音声合成装置	1式	
		指令情報送信装置	1式	
		車両運用表示盤	1面	管理車両24台
		支援情報表示盤	1面	
		多目的情報表示装置	1面	
		順次指令装置	1式	
		遠隔制御装置	7台	6波（活動波2波・主運用波1波・統制波3波）
		データ修正装置	1式	
		システム監視装置	1式	
		無線監視装置	1式	
		聴覚・言語機能等障がい者用パソコン	2台	メール119用1台、NET119用1台
		映像通報システム用パソコン	3台	主席・副席・指揮席
消防署各分署		署所端末装置	4式	指令電話　パソコン　プリンタ
		車両運用端末装置	26台	AVM（Ⅲ型19台・Ⅱ型7台）

（3） 通信指令回線構成

（令和7年 4月 1日現在）

回線名	数量	回線名	数量
119番通報回線（光8回線対応）	2	東日本高速道路㈱専用回線（東北自動車道）	1
119番転送回線	2	車両動態用専用回線	1
指令回線	4	消防情報案内回線	1
順次指令回線	4	電話ファックス回線	3
発信専用回線	2	監視装置回線	4
無線受付回線	2	ヘルプネット	1
メンテナンス接続回線	1	コールバック回線（呼び返し回線）	1
庁内放送回線	1		
119番衛星迂回回線	1		
警察専用回線	1		

（4） 無線電話

（令和7年 4月 1日現在）

所属	区分／種別		出力（W）	局数	周波数内訳台数			
					活動波		共通波	
					消防波	救急波	主運用波	統制波
消防本部	基地局	活動波	5	2	1	1		
		共通波	16	4			1	3
	陸上移動局		10	4	陸上移動局は、全ての周波数を実装（活動波2波・主運用波7波・統制波3波）			
	〃		5	5				
消防署	陸上移動局		10	7				
	〃		5	22				
粟野分署	陸上移動局		10	5				
	〃		5	4				
東分署	陸上移動局		10	5				
	〃		5	4				
北分署	陸上移動局		10	5				
	〃		5	4				

署活動用無線機

所属	区分／種別	出力（W）	局数	周波数内訳台数			
				署活動波1	署活動波2	関東共通波	防災相互波
消防本部	陸上移動局	1	5	5	5	5	5

(5)119番等受付件数

（令和7年中）

覚知方法 ＼ 災害等別		火災	救急	救助	災害その他	重複	いたずら	間違い通報	管外転送	病院合同照会	試験	通報訓練	その他	合計
119受付	固定電話	3	647	1	13	38	14	90	2	74	248	217	31	1,378
	携帯電話	27	2,538	25	35	167		284	118	317	31	97	30	3,669
	IP電話	5	1,383	8	6	32	1	13	2	60	9	295	8	1,822
	転送受信 ＊ 他消防本部から転送されたもの	2	84	3	3	4		6		8	2		3	115
119以外	一般加入	3	93	6	60	1		1		1			8	173
	警察専用	1	96	13	27	1				2	5			145
	高速専用	2			3								1	6
	駆け込み	1	50	1	6									58
	無線		15	2	13								1	31
	メール													
	NET119													
	その他		6	2	1	3		1			8	1	5	27
合計		44	4,912	61	167	246	15	395	122	462	303	610	87	7,424

4 気　象

(1)気象概況

（令和7年中）

区分＼月別		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
気温(℃)	最 高	14.0	16.3	25.3	28.5	30.8	33.6	37.1	36.6	35.0	30.6	24.4	16.9
	最 低	−5.5	−7.1	−3.8	0.4	6.2	12.7	19.9	21.8	15.4	6.4	−1.8	−5.7
	平 均	3.4	3.1	8.3	13.8	18.7	22.3	27.1	27.6	25.1	18.9	11.6	4.2
湿度(%)	最 高	96.8	94.5	96.6	97.6	97.2	97.6	97.3	97.5	98.0	98.2	97.9	97.5
	最 低	20.2	14.4	7.9	18.7	23.7	15.8	36.3	39.4	39.2	23.7	23.9	21.9
	平 均	62.0	51.4	66.3	67.6	73.7	76.8	77.9	78.5	79.7	80.0	72.2	70.4
風速(m/s)	最 大	16.8	20.2	19.4	20.4	17.9	12.4	17.2	15.1	16.8	13.5	20.4	18.4
	平 均	2.1	2.5	2.4	2.6	2.3	1.9	2.0	1.9	1.8	1.8	1.7	1.8
気圧(Hp)	最 高	1008.4	1008.9	1013.9	1013.4	1009.3	1003.9	1002.8	1003.2	1008.6	1015.2	1014.2	1016.3
	最 低	981.5	979.0	975.4	972.2	980.3	979.2	979.9	981.1	984.5	982.9	979.1	994.7
	平 均	999.8	996.7	998.4	994.8	995.9	993.4	994.9	994.0	997.7	1003.1	1001.2	1000.6
最多風向		北	北	北	南	南	南	南	南	北	東北東	北北西	北
総降雨量(mm)		22.0	4.5	91.0	115.5	200.0	185.0	143.0	137.5	96.5	90.5	8.5	35.0

（2） 気象通報等受理状況

（令和7年中）

区分 ＼ 月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
特別警報	大雨													0
	大雪													0
	暴風													0
	暴風雪													0
小計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
警報	大雨							2						2
	洪水													0
	暴風													0
	暴風雪													0
	大雪													0
小計		0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
注意報	大雨						2	15	9	2				28
	洪水						1	3	1	1				6
	強風	5	4	4	4	1		1				2	1	22
	風雪		1											1
	大雪		1	3										4
	雷	1	1	1	9	11	8	20	20	10	3			84
	濃霧	3	1	9	11	17	15	16	15	17	9	5	6	124
	乾燥	4	2	6	4	2							1	19
	なだれ													0
	低温	3	11	1									1	16
	霜			9	8									17
	着雪			3										3
	着氷													0
小計		16	21	36	36	31	26	55	45	30	12	7	9	324
情報	栃木県気象情報	12	16	20	8	4	19	46	46	30			3	204
	異常天候早期警戒情報													0
	栃木県・関東甲信地方注意情報						1	32	16	17				66
	土砂災害警戒情報							4						4
小計		12	16	20	8	4	20	82	62	47	0	0	3	274
火災気象通報		38	40	33	20	9	1		1			5	13	160
計		66	77	89	64	44	47	139	108	77	12	12	25	760

第　4　章

各種統計

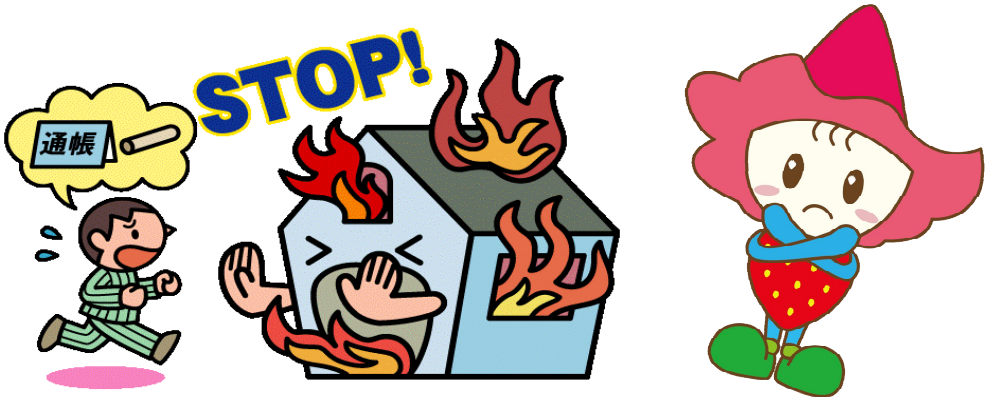
1　火　災　統　計(令和7年中)



火 災 件 数　　37 件



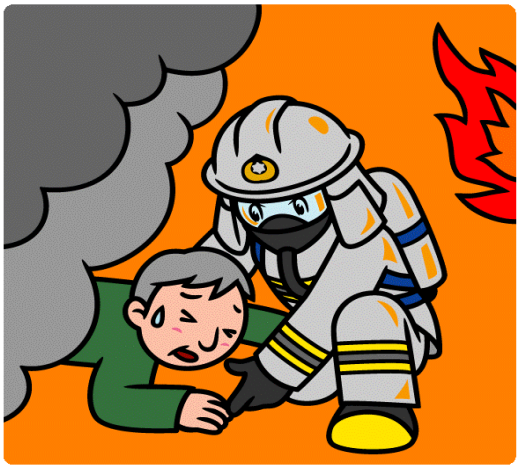
焼 損 棟 数　　38 棟



損害見積額　　77,793 千円



死　　者　　0 人



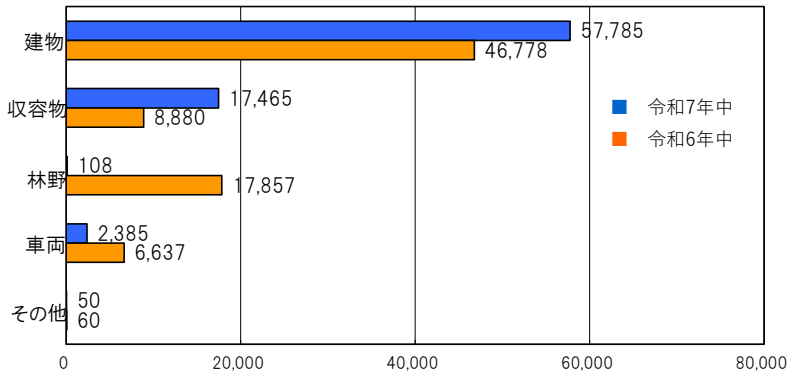
負 傷 者　　1 人

（1） 月別火災統計

（令和7年中）

区分／月別	火災件数					焼損棟数					焼損面積			り災世帯				り災人員	死傷者		損害見積額（千円）					
	建物	林野	車両	その他	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	合計	建物（㎡）		林野（a）	全損	半損	小損	合計		死者	負傷者	建物		林野	車両	その他	合計
											床面積	表面積									建物	収容物				
1月	2			2	4			1	1	2	23	1									2					2
2月	3	1	1	3	8	6		3	2	11	349	21	22	1		1	2	7			9,833	5,034	108	111	22	15,108
3月	2		1	4	7	2			1	3	19										139	8,834		20	28	9,021
4月																										
5月	2			3	5	1		1	1	3	385					2	2	2			36,086	3,189				39,275
6月	1				1				1	1												225				225
7月	1			1	2				1	1		1									6					6
8月	2		1		3	2		3		5	121	30		1		2	3	12			8,810			361		9,171
9月																										
10月																										
11月	3			1	4	4	1	7		12	87	44		2		3	5	2		1	2,909	183		1,893		4,985
12月				3	3																					
合計	16	1	3	17	37	15	1	15	7	38	984	97	22	4		8	12	23		1	57,785	17,465	108	2,385	50	77,793

損害見積額（千円）

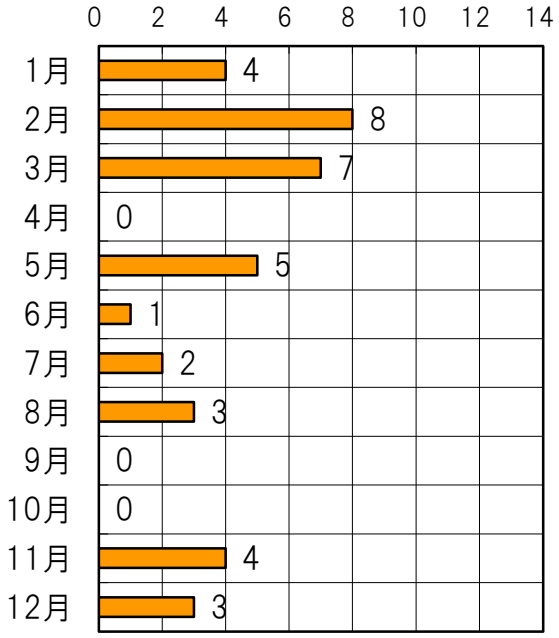


（2） 月別･曜日別火災件数

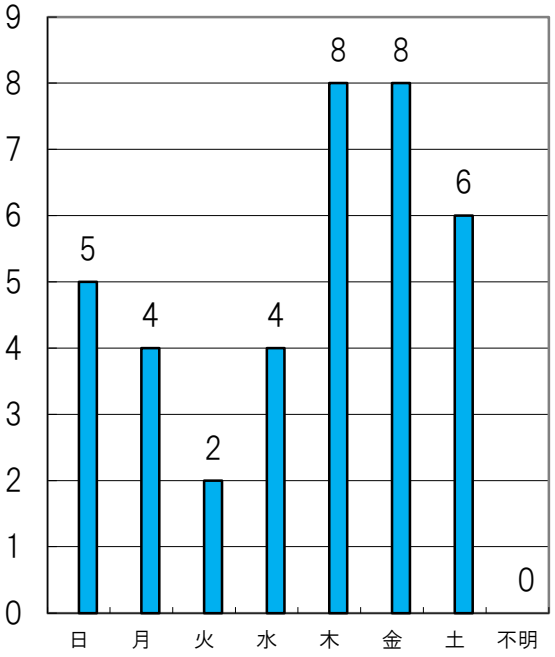
（令和7年中）

曜日／月別	日	月	火	水	木	金	土	不明	計
1月				1	3				4
2月	1	1		1	1	3	1		8
3月	2				2	1	2		7
4月									
5月		1	1			3			5
6月					1				1
7月			1	1					2
8月		2				1			3
9月									
10月									
11月	1			1	1		1		4
12月	1						2		3
合　計	5	4	2	4	8	8	6		37

月別火災件数

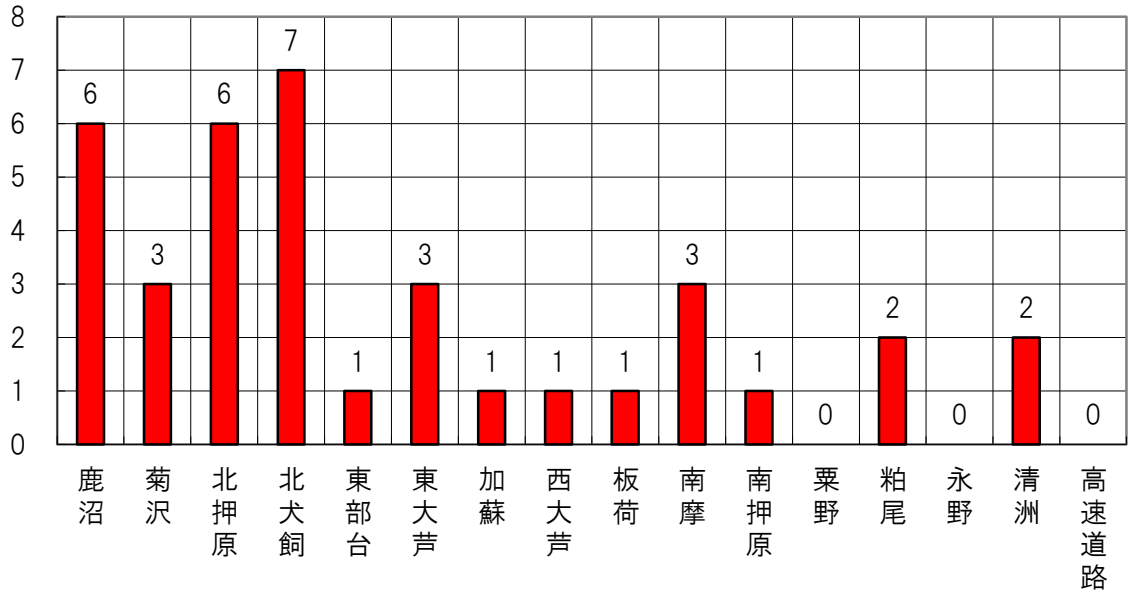


曜日別火災件数



（3） 地区別火災発生状況

（令和7年中）



（令和7年中）

区分 ＼ 地区別	火災件数					損害見積額（単位:千円）					
	建物	林野	車両	その他	合計	建物		林野	車両	その他	合計
						建物	収容物				
鹿沼	4		1	1	6	6,179	1,566		20		7,765
菊沢	1			2	3		8,820				8,820
北押原	1		1	4	6	7,183			126		7,309
北犬飼	4		1	2	7	1,633	227		331		2,191
東部台				1	1						
東大芦		1		2	3	135	53	108			296
加蘇	1				1	1,259	50		1,893		3,202
西大芦	1				1	139	14			28	181
板荷				1	1						
南摩	2			1	3	2				10	12
南押原	1				1	5,169	3,548		15	12	8,744
粟野											
粕尾				2	2						
永野											
清洲	1			1	2	36,086	3,187				39,273
高速道路											
合計	16	1	3	17	37	57,785	17,465	108	2,385	50	77,793

（4） 過去5年間火災損害状況

（令和3年～令和7年）

区分＼年別			令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
火災件数	建物		16	19	12	17	16
	林野		6	2	3	2	1
	車両		6	4	7	4	3
	その他		14	15	24	14	17
	計		42	40	46	37	37
り災世帯	全損		5	8	4	5	4
	半損		0	1	0	0	0
	小損		1	8	9	11	8
	計		6	17	13	16	12
焼損棟数	全焼		14	9	11	11	15
	半焼		4	3	0	0	1
	部分焼		9	5	10	8	15
	ぼや		4	20	5	8	7
	計		31	37	26	27	38
焼損面積	建物（㎡）		1,386	1,239	1,172	1,242	1,081
	林野（a）		28	75	35	575	22
	1件平均	建物（㎡）	87	65	98	73	68
		林野（a）	5	38	12	288	22
見積損害額	総額（千円）		70,274	74,817	185,785	80,212	77,793
	1件平均（千円）		1,673	1,870	4,039	2,168	2,103
死者			1	2	2	1	0
負傷者			2	3	4	4	1

（5） 過去5年間月別損害見積額

（令和3年～令和7年）（単位:千円）

年別 / 月別	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	平均
1 月	5,530	10	2,924	18,959	2	5,485
2 月	1,333	639	3,710	5	15,108	4,159
3 月	9,890	35,097	36,540	648	9,021	18,239
4 月	9,758	222	140,664	26,368		35,402
5 月	20		194	60	39,275	7,910
6 月	17,224	32			225	3,496
7 月	49	4,669	27	2,952	6	1,541
8 月	2,044	6,276	49		9,171	3,508
9 月		464		859		265
10 月	6,327		1,377	3,197		2,180
11 月	16,099	27,408	300	26,664	4,985	15,091
12 月	2,000			500		500
計	70,274	74,817	185,785	80,212	77,793	97,776

（6） 過去5年間月別火災件数

（令和3年～令和7年）

年別 / 月別	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	平均
1 月	6	4	5	5	4	5
2 月	7	6	9	6	8	7
3 月	4	4	5	5	7	5
4 月	4	4	3	4		3
5 月	2		3	3	5	3
6 月	4	2	1	1	1	2
7 月	3	5	4	1	2	3
8 月	5	6	4	1	3	4
9 月	1	4	2	1		2
10 月	3	2	3	3		2
11 月	1	2	5	5	4	3
12 月	2	1	2	2	3	2
計	42	40	46	37	37	40

（7） 過去5年間曜日別火災件数

（令和3年～令和7年）

年別 / 曜日	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	平均
日	9	8	12	10	5	8.8
月	5	6	10	6	4	6.2
火	5	3	7	1	2	3.6
水	4	7	3	6	4	4.8
木	7	5	5	7	8	6.4
金	6	9	5	2	8	6.0
土	6	2	4	5	6	4.6
不明						
計	42	40	46	37	37	40.4

（8） 過去5年間風速別火災件数

（令和3年～令和7年）

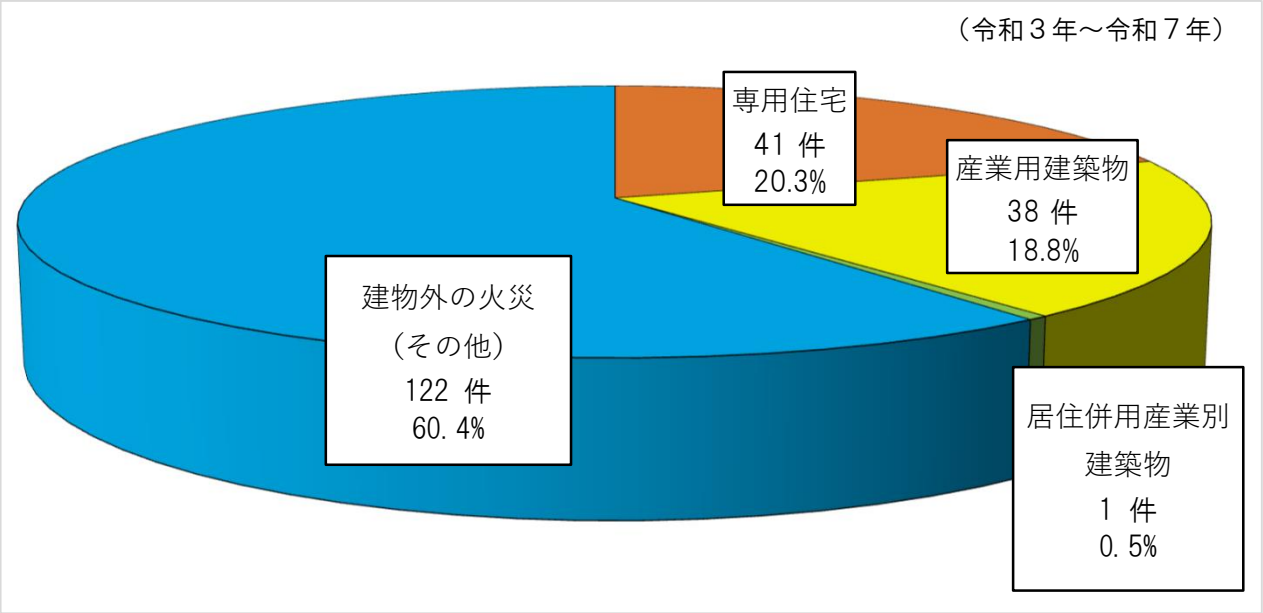
年別 / 風速(m/s)	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	平均
0m/s	2	2	3			1.4
1m/s	9	11	12	10	6	9.6
2～3m/s	16	20	23	17	16	18.4
4～5m/s	10	4	5	4	4	5.4
6～9m/s	5	3	2	5	11	5.2
10～14m/s			1	1		0.4
15～19m/s						
20m/s以上						
不明						
計	42	40	46	37	37	40.4

（9） 過去5年間時間帯別火災件数

（令和3年～令和7年）

年別 / 時間別	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
0時 ～ 1時	1	1	1		
1時 ～ 2時				1	
2時 ～ 3時			2		
3時 ～ 4時	1		3	1	
4時 ～ 5時	2		1	2	1
5時 ～ 6時		1		1	
6時 ～ 7時				1	1
7時 ～ 8時	2	1	3		
8時 ～ 9時	2	1	2		1
9時 ～ 10時	2	4	2	3	3
10時 ～ 11時	2		2	3	3
11時 ～ 12時	6	3	3	3	3
12時 ～ 13時	1	3	5	3	3
13時 ～ 14時	8	5	3	8	6
14時 ～ 15時	3	2	3		5
15時 ～ 16時	3	2	4	3	1
16時 ～ 17時	1	3	1	2	3
17時 ～ 18時	3	3	1		2
18時 ～ 19時	2	5	2	2	1
19時 ～ 20時	1	1	1	1	2
20時 ～ 21時		2	2	1	1
21時 ～ 22時	2	1	1	2	
22時 ～ 23時		2	2		
23時 ～ 24時			2		1
不明					
計	42	40	46	37	37

（10）過去5年間建物用途別火災件数



用途別＼年別			令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
建築物	専用住宅		7	8	7	14	5
	居住併用産業別建築物	農林水産業				1	
		鉱工業					
		商業					
		サービス業					
		その他					
	産業用建築物	事務所		2			
		店舗	1		1	1	
		工場・作業場	2	8	3	1	6
		倉庫	4		1		
		車庫					1
		研究所					
		養畜舎	1				
		特殊対象物					
		その他	1	1			4
林野			6	2	3	2	1
車両			6	4	7	4	3
その他			14	15	24	14	17
計			42	40	46	37	37

（11） 過去5年間原因別火災件数

（令和3年～令和7年）

年別 / 原因別	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
たばこ	1	4	2		1
たき火	8	8	10	6	7
火遊び	1				
こんろ	2		1	3	
こたつ					
放火	1	2			
風呂・かまど					1
炉・焼却炉	1	1	1	1	2
ストーブ	3				1
放火の疑い			4		2
マッチ･ライター		2		3	
煙突・煙道					1
電灯電話等の配線	2	3	5	3	4
電気機器･装置配線器具	1	2	3	3	8
その他	15	10	14	13	6
不明・調査中	7	8	6	5	4
計	42	40	46	37	37

（12） 過去10年間の主な火災

損害見積額1,000 万円以上、建物焼損面積300㎡以上、死傷者3名以上のいずれかに該当する火災を収録

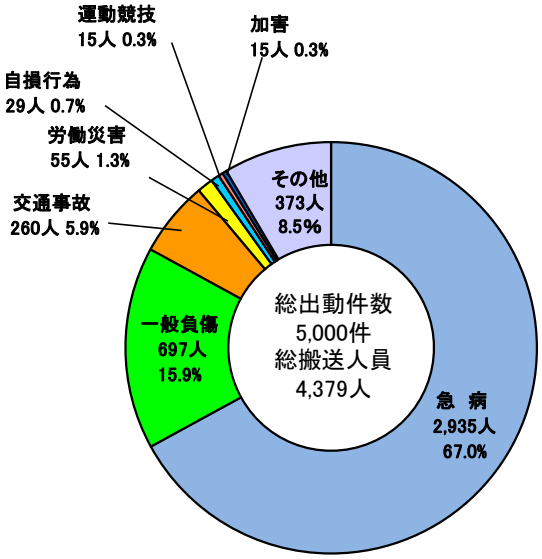
（平成28年～令和7年）

出火日時	出火場所	出火原因	焼損面積（㎡）	損害見積額（千円）	負傷者	死者
平成28年1月26日 8時23分	鹿沼市千渡 一般住宅	ストーブ	92	33,355		
平成28年3月3日 15時30分	鹿沼市上永野 林野	焚火	187,000	37,189	1	
平成29年1月11日 20時00分	鹿沼市寺町 一般住宅	オイルヒーター	304	13,505	2	
平成29年3月19日 18時20分	鹿沼市上石川 事務所	不明	98	21,830		
平成29年4月15日 10時15分	鹿沼市高谷 工場	不明	3,309	44,242		
平成29年10月30日 6時45分	鹿沼市深程 工場	電気配線	762	44,007		
平成30年6月2日 4時15分	鹿沼市府所町 倉庫	不明	134	14,486		
平成30年9月16日 21時10分	鹿沼市深程 一般住宅	蚊取線香	284	17,923	1	
平成30年11月1日 5時30分	鹿沼市草久 茶屋	電気配線器具	155	15,448		
平成30年12月8日 18時25分	鹿沼市日吉町 店舗	こんろ	234	14,000		
平成31年1月9日 18時10分	鹿沼市栃窪 工場	電気配線器具	725	74,663		
平成31年4月10日 0時30分	鹿沼市中田町 貸店舗	不明	358	11,341	2	
令和1年11月26日 1時40分	鹿沼市上永野 一般住宅	不明	418	6,450		1
令和3年4月1日 18時40分	鹿沼市池ノ森 一般住宅	たき火	413	9,266		

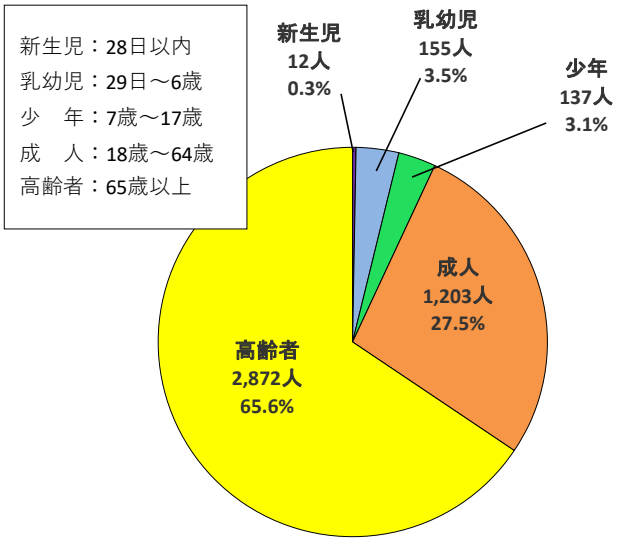
出火日時	出火場所	出火原因	焼損面積（㎡）	損害見積額（千円）	負傷者	死者
令和3年6月21日 8時30分	鹿沼市さつき町 集塵機	粉体摩擦		17,167		
令和3年11月11日 11時00分	鹿沼市藤江町 一般住宅	不明	248	16,099		
令和4年3月21日 17時26分	鹿沼市寺町 一般住宅	たばこ	584	35,095		1
令和5年3月20日 9時21分	鹿沼市栄町 一般住宅	不明	125	33,175	2	
令和5年4月16日 23時24分	鹿沼市亀和田町 工場	放火の疑い	420	138,663		
令和6年1月29日 11時31分	鹿沼市中粕尾 山林内	焚火	547	17,357	2	
令和6年4月28日 13時25分	鹿沼市樅山町 一般住宅	こんろ	772	20,000		
令和6年11月14日 21時26分	鹿沼市上石川 一般住宅	不明	120	25,420		
令和7年2月14日 14時49分	鹿沼市北赤塚町 一般住宅	風呂･かまど	300	8,744		
令和7年5月6日 23時10分	鹿沼市久野 社員寮	電気機器配線器具	385	39,273		

2 救 急 統 計（令和7年中）

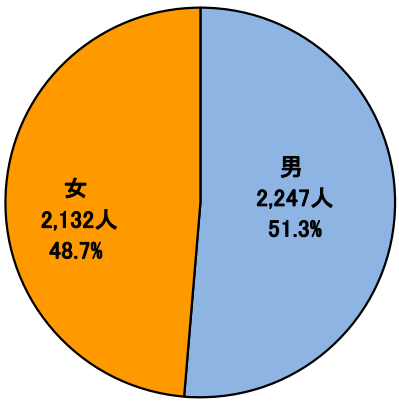
事故種別出動件数及び搬送人員



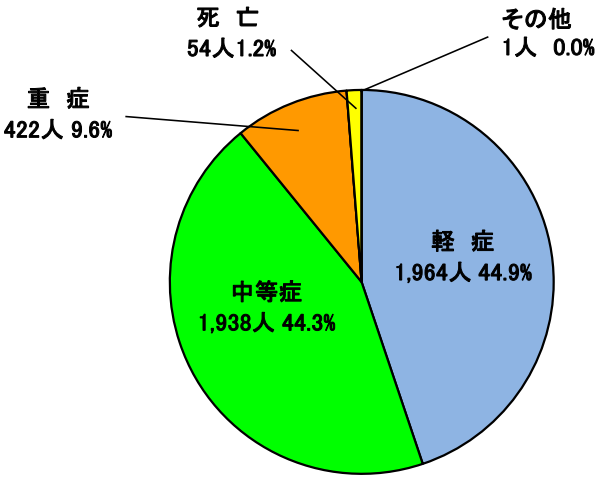
年齢区分別搬送人員



性別別搬送人員



傷病程度別搬送人員



（1） 過去5年間年別救急統計

（令和3年～令和7年）

区分＼年別			令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
出動件数			3,960	4,721	4,906	4,804	5,000
搬送件数			3,651	4,166	4,392	4,295	4,357
搬送人員			3,674	4,190	4,440	4,321	4,379
	男		1,902	2,300	2,384	2,254	2,247
	女		1,772	1,890	2,056	2,067	2,132
	死亡		69	80	64	45	54
	重症		417	449	465	448	422
	中等症		1,568	1,731	1,835	1,849	1,938
	軽症		1,620	1,930	2,076	1,978	1,964
	その他		0	0	0	1	1
	火災		3	2	4	1	1
	自然災害		0	1	0	0	0
	水難		1	3	2	0	0
	交通事故		293	276	303	270	260
	労働災害		45	54	48	58	55
	運動競技		5	18	22	15	15
	一般負傷		522	614	619	633	697
	加害		4	9	9	13	15
	自損行為		17	30	36	29	29
	急病		2,394	2,844	3,049	2,939	2,935
	その他	転院搬送	389	338	346	363	372
		その他	1	1	2	0	0

（2） 月別救急統計

（令和7年中）

区分＼月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	比率(%)
出動件数		502	420	445	350	361	391	443	453	395	387	422	431	5,000	100.0
火災		1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	5	0.1
自然災害		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
水難		0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0.0
交通事故		28	25	26	28	17	26	24	14	19	30	25	29	291	5.8
労働災害		4	7	2	1	3	5	5	5	2	6	3	11	54	1.1
運動競技		0	0	0	1	3	0	2	1	2	2	2	1	14	0.3
一般負傷		70	75	65	45	62	54	54	67	60	63	78	77	770	15.4
加害		1	0	2	3	1	2	2	1	4	3	0	5	24	0.5
自損行為		2	7	2	1	0	1	6	5	3	1	5	6	39	0.8
急病		358	268	309	232	252	265	308	304	277	246	288	267	3,374	67.5
その他	転院搬送	34	34	36	35	23	35	38	31	26	31	20	31	374	7.5
その他	その他	4	3	3	3	0	3	2	24	2	5	0	4	53	1.1
搬送人員		443	372	393	311	329	347	385	374	345	343	357	380	4,379	100.0
男		237	190	201	156	164	173	193	185	195	173	190	190	2,247	51.3
女		206	182	192	155	165	174	192	189	150	170	167	190	2,132	48.7
死亡		6	9	1	1	3	4	4	3	4	6	9	4	54	1.2
重症		46	49	38	38	25	20	33	23	44	37	26	43	422	9.6
中等症		207	146	174	140	139	171	162	181	138	153	152	175	1,938	44.3
軽症		184	168	180	132	162	152	185	167	159	147	170	158	1,964	44.9
その他		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.0

(3) 年齢別救急統計

（令和7年中）

区分＼年齢区分		新生児 28日以内	乳幼児 29日～6歳	少年 7歳～17歳	成人 18歳～64歳	高齢者 65歳以上	計
搬送人員		12	155	137	1,203	2,872	4,379
死亡		0	0	0	6	48	54
重症		2	4	2	91	323	422
中等症		10	22	20	389	1,497	1,938
軽症		0	129	115	716	1,004	1,964
その他		0	0	0	1	0	1
火災		0	0	0	0	1	1
自然災害		0	0	0	0	0	0
水難		0	0	0	0	0	0
交通事故		0	7	30	132	91	260
労働災害		0	0	0	37	18	55
運動競技		0	0	9	2	4	15
一般負傷		0	31	20	118	528	697
加害		0	0	1	11	3	15
自損行為		0	0	1	22	6	29
急病		1	114	73	779	1,968	2,935
その他	転院搬送	11	3	3	102	253	372
	その他	0	0	0	0	0	0

(4) 時間帯別救急統計

（令和7年中）

区分＼時間帯別		時間帯別内訳												計
		0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	
出場件数		200	176	201	379	627	636	542	524	550	525	396	244	5,000
火災		0	0	0	0	0	1	1	2	0	1	0	0	5
自然災害		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水難		0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
交通事故		1	1	10	15	40	32	40	46	49	36	15	6	291
労働災害		1	1	0	0	3	15	11	13	8	2	0	0	54
運動競技		0	0	0	0	1	5	4	1	2	0	1	0	14
一般負傷		22	17	23	62	116	95	81	84	95	82	64	29	770
加害		2	1	0	5	0	1	1	1	2	3	3	5	24
自損行為		1	1	2	3	2	2	3	3	6	11	5	0	39
急病		168	150	160	286	425	366	329	325	327	360	288	190	3,374
その他	転院搬送	3	4	3	1	37	109	71	43	53	25	14	11	374
	その他	2	1	3	7	3	9	1	6	7	5	6	3	53

（5） 地区別救急統計

（令和7年中）

区分＼地区別	鹿沼	菊沢	北押原	北犬飼	東部台	東大芦	加蘇	西大芦	板荷	南摩	南押原	粟野	粕尾	永野	清洲	計	高速道路	管外	合計
出動件数	1,319	590	539	571	793	155	72	38	96	185	212	162	68	87	94	4,981	15	4	5,000
火災	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	0	1	5
自然災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水難	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	2
交通事故	44	34	37	49	57	6	6	4	2	7	15	10	4	3	4	282	8	1	291
労働災害	5	5	3	17	1	2	2	0	2	4	5	3	1	0	4	54	0	0	54
運動競技	4	1	1	4	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	14	0	0	14
一般負傷	210	86	83	79	92	23	17	10	17	35	35	29	14	22	17	769	1	0	770
加害	3	5	1	4	6	0	1	0	2	2	0	0	0	0	0	24	0	0	24
自損行為	9	7	7	5	4	0	2	0	0	1	2	0	2	0	0	39	0	0	39
急病	845	433	375	382	517	123	45	23	73	119	139	116	47	61	69	3,367	6	1	3,374
その他 転院搬送	181	17	25	29	108	0	0	0	0	0	12	2	0	0	0	374	0	0	374
その他 その他	16	2	6	2	8	0	0	1	0	15	3	0	0	0	0	53	0	0	53
搬送人員	1,174	517	456	504	700	135	63	35	83	147	184	145	63	78	84	4,368	10	1	4,379

3 救 助 統 計

(1) 過去5年間年別救助統計

（令和3年～令和7年）

区分＼年別	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
救助出動件数	69	86	78	67	62
救助活動件数	38	48	43	33	30
救 助 人 員	40	43	41	29	24
救助活動人員	332	400	415	286	257
救助活動車両	88	103	115	77	67

(2) 事故種別救助統計

（令和7年中）

区分＼事故種別	火災	交通事故	水難事故	自然事故	機械による事故	建物による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他	計
救助出動件数	1	18	3	0	2	17	0	0	21	62
救助活動件数	1	6	2	0	1	10	0	0	10	30
救 助 人 員	3	6	1	0	1	4	0	0	9	24
救助活動人員	18	42	22	0	8	80	0	0	87	257
救助活動車両	5	11	6	0	2	20	0	0	23	67

4 災害統計

(1)その他災害出動件数

（令和3年～令和7年）

区分＼年別	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
危険物排除	39	42	46	47	61
燃焼物排除					4
警戒警備	4	3	2	2	7
偵察	46	19	61	65	83
ガス漏洩	1	2	1	1	2
その他	4	3	15	15	7
合計	94	69	125	130	164

(2)危害予防出動件数

（令和3年～令和7年）

区分＼年別	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
蜂の巣駆除等	2	0	1		4
動物救助、駆除等	4	7	5	7	3
その他	6	8	7	3	3
合計	12	15	13	10	10

(3)風水害出動件数

（令和3年～令和7年）

区分＼年別	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
台風					
降雨	4	2		1	
その他	1	1			
合計	5	3	0	1	0

（4）PA連携出動件数

（令和3年～令和7年）

区分＼年別	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
救急隊支援	175	232	167	192	213
ドクターヘリ等支援	44	40	38	24	25
合計	219	272	205	216	238

第　５　章

消 防 団

1 消防団情勢

(1) 消防団員の定数及び実員

（令和8年4月1日現在）

分団別＼階級		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	支援団員	計
団本部	定数	1	3	7					0	11
	実員	1	3	7					0	11
第1分団	定数			1	1	3	6	27	10	48
	実員			1	1	3	6	17	2	30
第2分団	定数			1	1	4	8	36	10	60
	実員			1	1	4	8	33	10	57
第3分団	定数			1	1	4	8	37	10	61
	実員			1	1	4	8	30	9	53
第4分団	定数			1	1	5	10	38	10	65
	実員			1	1	5	10	36	15	68
第5分団	定数			1	1	3	6	27	10	48
	実員			1	1	3	6	20	10	41
第6分団	定数			1	1	3	6	25	10	46
	実員			1	1	3	6	25	8	44
第7分団	定数			1	1	3	6	25	10	46
	実員			1	1	3	6	16	12	39
第8分団	定数			1	1	3	6	30	10	51
	実員			1	1	3	6	22	10	43
第9分団	定数			1	1	3	6	27	10	48
	実員			1	1	3	6	18	9	38
第10分団	定数			1	1	4	8	28	10	52
	実員			1	1	4	8	25	10	49
第11分団	定数			1	1	4	8	36	10	60
	実員			1	1	4	8	31	10	55
第12分団	定数			1	1	4	8	34	10	58
	実員			1	1	4	8	32	8	54
第13分団	定数			1	1	2	4	25	10	43
	実員			1	1	2	4	23	10	41
第14分団	定数			1	1	3	6	27	10	48
	実員			1	1	3	6	26	10	47
第15分団	定数			1	1	1	2	10	10	25
	実員			1	0	1	2	8	0	12
計	定数	1	3	22	15	49	98	432	150	770
	実員	1	3	22	14	49	98	362	133	682

(2) 分団別の人口･世帯数･団員数

（令和8年4月1日現在）

区分 / 分団別	人口	世帯数	団員数		団員	団員1人当り	
			定数	実員	平均年齢	人口	世帯数
団本部			11	11	48.7		
第1分団（鹿沼）	21,848	10,144	48	30	42.2	728	338
第2分団（菊沢）	13,588	6,004	60	57	35.9	238	105
第3分団（北押原）	10,945	4,700	61	53	38.9	207	89
第4分団（北犬飼･東部台）	25,388	11,574	65	68	42.6	373	170
第5分団（東大芦）	2,778	1,214	48	41	38.8	68	30
第6分団（加蘇）	1,627	732	46	44	45.8	37	17
第7分団（西大芦）	620	313	46	39	44.2	16	8
第8分団（板荷）	1,440	675	51	43	42.3	33	16
第9分団（南摩）	2,658	1,181	48	38	42.9	70	31
第10分団（南押原）	3,656	1,581	52	49	40.0	75	32
第11分団（粟野）	2,590	1,134	60	55	45.2	47	21
第12分団（粕尾）	1,178	521	58	54	42.3	22	10
第13分団（永野）	941	444	43	41	45.4	23	11
第14分団（清洲）	2,275	992	48	47	43.9	48	21
第15分団（全地区）			25	12	43.6		
計	91,532	41,209	770	682	42.7	134	60

(3) 在職年数別消防団員数

（令和8年 4月 1日現在）

5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上25年未満	25年以上30年未満	30年以上	計
128	161	191	118	56	25	3	682

(4) 年齢別消防団員数

（令和8年 4月 1日現在）

20歳未満	20歳以上25歳未満	25歳以上30歳未満	30歳以上35歳未満	35歳以上40歳未満	40歳以上45歳未満	45歳以上50歳未満	50歳以上55歳未満	55歳以上60歳未満
1	17	29	84	124	169	128	73	37

60歳以上	計	平均年齢
20	682	42.7

（5） 消防団員の報酬･手当

（令和8年4月1日現在)(単位:円）

区分／支給単位／階級	報酬	出動報酬		警戒及び訓練	
	年額	日額	日額	1日	
団長	213,000	※1 ※3 4000	※2 ※4 8000	2,000	※1 1日あたりの災害活動時間が7時間45分未満の場合 ※2 1日あたりの災害活動時間が7時間45分以上の場合 ※3 7時間45分未満で2暦日に渡る場合は、活動開始時刻が属する日で支給する。 ※4 7時間45分以上で2暦日に渡る場合は、日を跨いで7時間45分以上に達した時刻から2日目支給分の活動時間を起算する。
副団長	150,000				
分団長	105,000				
副分団長	77,000				
部長	63,000				
班長	50,000				
団員	46,000				
支援団員	5,000				

（6） 消防団員の出動状況

（令和7年中）

区分／回数･人員	火災	うち林野火災	風水害等の災害	演習･訓練等	広報･指導	特別警戒	捜索	誤報等	その他	計
出動回数	28	2	1	34	26	20	2	2	102	215
出動延人員	577	131	4	2,297	2,421	370	49	4	1,342	7,064

2 消防機械器具

(1) 消防機械器具配置状況

（令和8年4月1日現在）

種別 / 消防団別	消防ポンプ自動車	小型動力積載ポンプ車	小型動力搬送ポンプ車	受令機	その他の車両
団本部		1		2	1
第1分団	3			3	
第2分団	2	2		4	
第3分団	2	2		4	
第4分団	3	2		5	
第5分団	2	1		3	
第6分団	2		1	3	
第7分団	1	1	1	3	
第8分団	1	1	1	3	
第9分団	2	1		3	
第10分団	1	3		4	
第11分団	2	2		4	
第12分団	2	1	1	4	
第13分団	1	2		3	
第14分団	3			3	
第15分団				1	1
計	27	19	4	52	2

(2) 消防車両等配置状況の経過

（令和4年度～令和7年度）

車両種別 / 年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度末
消防ポンプ自動車					1(2)	27
小型動力ポンプ	積載車			1		19
	搬送車			(1)		4
その他						2
計				1(1)	1(2)	52

（ ）内数は廃棄数

（3） 消防車両等の現勢

（消防ポンプ自動車）

（令和8年4月1日現在）

所　　属	車　　名	年 式	馬 力	使用年月	備　　考
第 1 分 団 第 1 部	トヨタ	H18	150	20.1	A2級
〃　　第 2 部	イスズ	H30	150	8.0	〃
〃　　第 3 部	トヨタ	H20	150	18.0	〃
第 2 分 団 第 3 部	トヨタ	H25	150	13.1	〃
〃　　第 4 部	ニッサン	H8	155	29.5	〃
第 3 分 団 第 2 部	トヨタ	H28	150	10.0	〃
〃　　第 3 部	トヨタ	H19	150	18.5	〃
第 4 分 団 第 1 部	トヨタ	H12	135	26.0	〃
〃　　第 3 部	トヨタ	H25	150	13.1	〃
〃　　第 5 部	トヨタ	R2	144	6.0	〃
第 5 分 団 第 1 部	トヨタ	H12	135	26.0	〃
〃　　第 2 部	トヨタ	H18	150	19.6	〃
第 6 分 団 第 1 部	ニッサン	H8	155	29.5	〃
〃　　第 3 部	トヨタ	H9	135	28.4	〃
第 7 分 団 第 2 部	トヨタ	H25	150	12.4	〃
第 8 分 団 第 3 部	トヨタ	H9	135	28.4	〃
第 9 分 団 第 1 部	トヨタ	H18	150	19.6	〃
〃　　第 3 部	トヨタ	H20	150	18.0	〃
第 10 分 団 第 1 部	日　野	H23	150	14.4	〃
第 11 分 団 第 1 部	トヨタ	H19	150	18.5	〃
〃　　第 2 部	トヨタ	H18	150	19.6	〃
第 12 分 団 第 1 部	イスズ	R7	150	1.8	〃
〃　　第 2 部	トヨタ	H27	150	10.8	〃
第 13 分 団 第 2 部 第 1 班	イスズ	H11	140	26.5	〃
第 14 分 団 第 1 部	イスズ	H10	140	27.5	〃
〃　　第 2 部	トヨタ	H18	150	19.6	〃
〃　　第 3 部	イスズ	H15	140	22.3	〃

（小型動力ポンプ積載車）

（令和8年4月1日現在）

所属	積載車					小型ポンプ				
	車名	年式	馬力	排気量（cc）	使用年月	種類	年式	馬力	使用年月	備考
団本部	ミツビシ	H7	94	2,835	30.6	シバウラ	H7	54	30	予備車B2級
第2分団第1部	トヨタ	H31	144	2,982	7.0	トーハツ	H31	30	7.0	B2級
〃　第2部	トヨタ	H27	144	2,982	11.2	シバウラ	H27	46	11.1	〃
第3分団第1部	トヨタ	H18	98	1,998	20.1	シバウラ	H18	62	20.0	〃
〃　第4部	ニッサン	H9	91	1,990	28.6	トーハツ	H25	40	12.3	〃
第4分団第2部	ニッサン	H8	91	1,990	29.3	シバウラ	H8	43	29.3	〃
〃　第4部	トヨタ	H31	144	2,982	7.0	シバウラ	H31	43	7.0	〃
第5分団第3部	トヨタ	H10	88	1,990	27.6	シバウラ	H12	54	25.5	〃
第7分団第1部	ニッサン	H12	85	2,660	25.4	シバウラ	H12	54	25.4	〃
第8分団第1部	トヨタ	H19	98	1,998	18.5	シバウラ	H19	62	18.4	〃
第9分団第2部	トヨタ	R6	132	1,990	1.1	トーハツ	R6	60	1.1	B1級
第10分団第2部	いすゞ	H27	110	2,999	11.1	トーハツ	H27	30	11.1	B2級
〃　第3部	トヨタ	H25	144	2,982	12.4	シバウラ	H25	62	12.4	〃
〃　第4部	いすゞ	H29	110	2,999	9.0	シバウラ	H29	30	8.11	〃
第11分団第3部	トヨタ	H30	136	4,009	8.0	シバウラ	H30	43	8.0	〃
〃　第4部	ニッサン	H9	85	2,663	28.6	シバウラ	H9	40	28.5	〃
第12分団第4部	いすゞ	H29	110	2,999	9.0	シバウラ	H29	30	8.11	〃
第13分団第1部	ミツビシ	H8	94	2,835	29.4	シバウラ	H8	54	29.4	〃
〃　第2部第2班	ニッサン	H9	85	2,663	28.6	シバウラ	H9	40	28.5	〃

（小型動力ポンプ搬送車）

（令和8年4月1日現在）

所属	搬送車					小型ポンプ				
	車名	年式	馬力	排気量（cc）	使用年月	種類	年式	馬力	使用年月	備考
第6分団第2部	ダイハツ	H26	53	650	12.0	トーハツ	H26	30	12.0	B2級
第7分団第3部	ダイハツ	H10	42	650	27.6	シバウラ	H10	54	27.6	〃
第8分団第2部	ダイハツ	H29	53	650	9.0	シバウラ	H29	30	9.0	〃
第12分団第3部	ダイハツ	R2	53	650	6.2	トーハツ	R2	30	6.2	〃

（消防団防災活動車）

（令和8年4月1日現在）

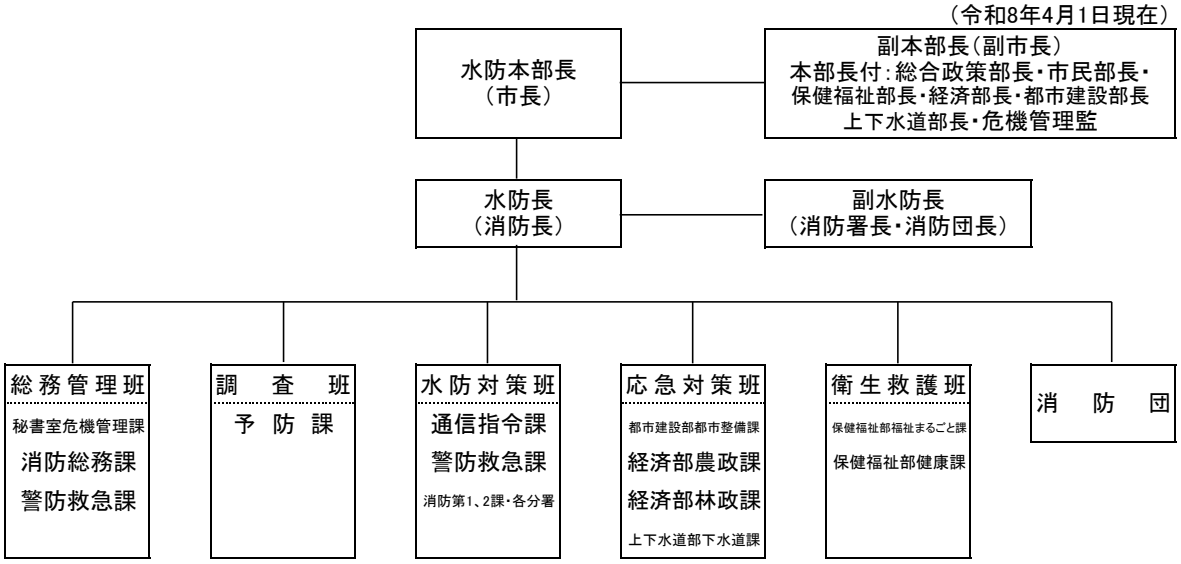
所属	車名	年式	馬力	排気量（cc）	使用年月	備考
団本部	ミツビシ	H26	170	2,350	11.3	団活動1号車
第15分団	ニッサン	H29	49	650	8.3	団活動2号車

第　6　章

水　　防

1 組 織

（令和8年4月1日現在）



2 水防本部各班の分担事務

班名	班長	班員	分担事務
総務管理班	消防本部警防救急課長	危機管理課職員 消防総務課職員 警防救急課職員	1 本庁各部との連絡調整に関すること 2 災害対策本部（設置された場合）との連絡調整に関すること 3 水害の集計及び報告（県・国）に関すること 4 水防各班との連絡調整に関すること 5 消防団及び水防協力団体との連絡調整に関すること 6 水防経費・水防器具資材の調達に関すること 7 水防計画に関すること
調査班	消防本部予防課長	予防課職員	1 被災箇所の調査報告に関すること
水防対策班	消防署消防第1・2課長	通信指令課職員 警防救急課職員 消防第1・2課 各分署職員	1 関係機関に対する通報連絡に関すること 2 気象通報の受理・報告に関すること 3 水害情報の収集・即報（県）に関すること 4 消防機関の出動に関すること 5 水防活動及びその指揮監督に関すること 6 出動隊との連絡調整に関すること 7 水防器具資材・人員の輸送に関すること
応急対策班	都市建設部整備課長	都市整備課職員 経済部農政課職員 経済部林政課職員 上下水道部下水道課職員	1 道路等の通行の確保及び道路情報の関係機関等への連絡に関すること 2 水防工事（危険箇所）に関すること 3 被災箇所等の応急措置（工事）に関すること 4 水利組合との連絡調整に関すること 5 水門調整に関すること 6 下水道に関すること
衛生救護班	保健福祉部健康課長	福祉まるごと課職員 健康課職員	1 被災者の救護・支援、被災地の衛生及び日赤業務に関すること
消防団	副団長	消防団員	1 水防巡視・警戒及び水防活動に関すること 2 出動隊との連絡調整に関すること

3 水防用資機材の備蓄状況

（令和8年4月1日現在）

設置場所	責任者	水防器具																			水防資材					
		のこぎり	なた	スコップ	つるはし	唐くわ	かけや	ペンチ	金づち	おの	鉄線切り		ハンマー		バール	まんのう	じょれん	しの	照明器具	救命胴衣	救命ボート	土のう袋	鉄線（ｋｇ）	杭	防水シート	砂（㎥）	土のう（袋）
											大	小	大	小													
鹿沼市消防署	消防署長	30	25	70	7	7	15	13	10	12	5	2	10	3	5	4	10	45	15	80	1	10,000	600	700	34	15	1,000
粟野分署	粟野分署長	10	5	10	2	2	2	2	1	2	3	1	2				2	8	5	30	1	5,500	150	110	15	2	250
東分署	東分署長	5	5	6	1	2	4	1	1	2	1	1	1	1			2	5	3	15	1	600	25	30	7		150
北分署	北分署長	5	3	5	1	2	3	1	1	2	1	1	1	1			2	5	2	15	1	1,150	45	33	9		150
北部防災コミュニティセンター	第2分団長	5	5	5	1	2	3	1	1	2	1	1		1				5	2			1,200	15	30		1	35
第5分団第2部車庫	第5分団長	5	3	5	1	2	2	1	1	2	1	1		1				3	2			1,000	50	30		1	
第6分団第2部車庫	第6分団長	5	3	5	1	2	2	1	1	2	1	1		1				3	2			1,000	20	30		1	
西大芦コミュニティセンター	第7分団長	5	3	15	1	2	2	1	1	2	1	2		1				3	2			1,100	40	30		1	
板荷コミュニティセンター	第8分団長	5	5	8	1	2	3	1	1	2	1	1		1				3	2			400	20	30		1	
南摩コミュニティセンター	第9分団長	10	5	10	3	5	4	1	1	2	1	1		1				3	2			1,300	50	70		1	50
合　　計		85	62	139	19	28	40	23	19	30	16	12	14	11	5	4	16	83	37	140	4	23,250	1,015	1,093	65	23	1,635

火災・救急は１１９

消防テレフォンサービス

（自動音声応答式　２４時間３６５日対応）

０５０　５５３０　１５１４

≪ご案内内容≫
医療機関情報や災害発生時には災害場所の情報などをお伝えしています。

令和８年６月刊行

編集発行　鹿沼市消防本部

〒３２２－００４５
栃木県鹿沼市上殿町５２０－１
ＴＥＬ（０２８９）６３－１１５３
ＦＡＸ（０２８９）６３－５５２０